

花貫溪谷

レンズの向こう・番外編

keisuke



花貫溪谷 (はなぬきけいこく)

御覧いただきありがとうございます。

茨城県の紅葉の名所「花貫溪谷」へ行ってきました。

「花貫溪谷」では、

平成25年11月1日から12月1日まで紅葉まつりが開催されているそうです。

『花貫溪谷』

茨城県北東部、高萩（たかはぎ）市にある峡谷。

多賀（たが）山地東縁部を花貫川が侵食し、花崗（かこう）岩質岩石が露出している谷である。

津智岳（つちだけ）橋付近の東西3キロメートルは

新緑・紅葉の景勝地で、ハイキング、キャンプ、山菜とりでにぎわう。

西方には土岳（つちだけ）（標高600メートル）や

旧水戸藩の大能（おおのう）牧場跡があり、現在は肉牛の飼育が盛ん。

東の谷口の花貫ダムは、海に見える多目的ダムとして有名。

花園（はなぞの）花貫県立自然公園の一部をなしている。

※以上、日本大百科全書より

撮影日 2013.11.12

水戸発、高萩へ～

水戸を出たら、国道6号をひたすら北上。

茨城県北東部、高萩市を目差します。



高萩市、着。



6号を左折、
国道461号（通称、花貫街道）に入り、進路を西に変更。

花貫駐車場、着。

この日は平日でありながら、団体客、家族連れ、女性のグループなどで賑わい
売店も出ていました。（紅葉期間のみ）

地元特産品、そば、うどん、たこ焼き（°-°*≡）ジール アユの塩焼き、他



花貫駐車場

乗用車 80台（500円/台）

仮設トイレ有り

※ガイドマップとポストカードが戴けます

出発!!

今風のカラフルなモノではありませんが
昔から使っている履き慣れたトレッキングシューズに替え

出発~!! (((●・ω・))ノ オー

。。。。。(=^0^)/ §*0)/ (*^ r0r ^)/ (^ (i) ^)ノ o(>▽<)/ノ

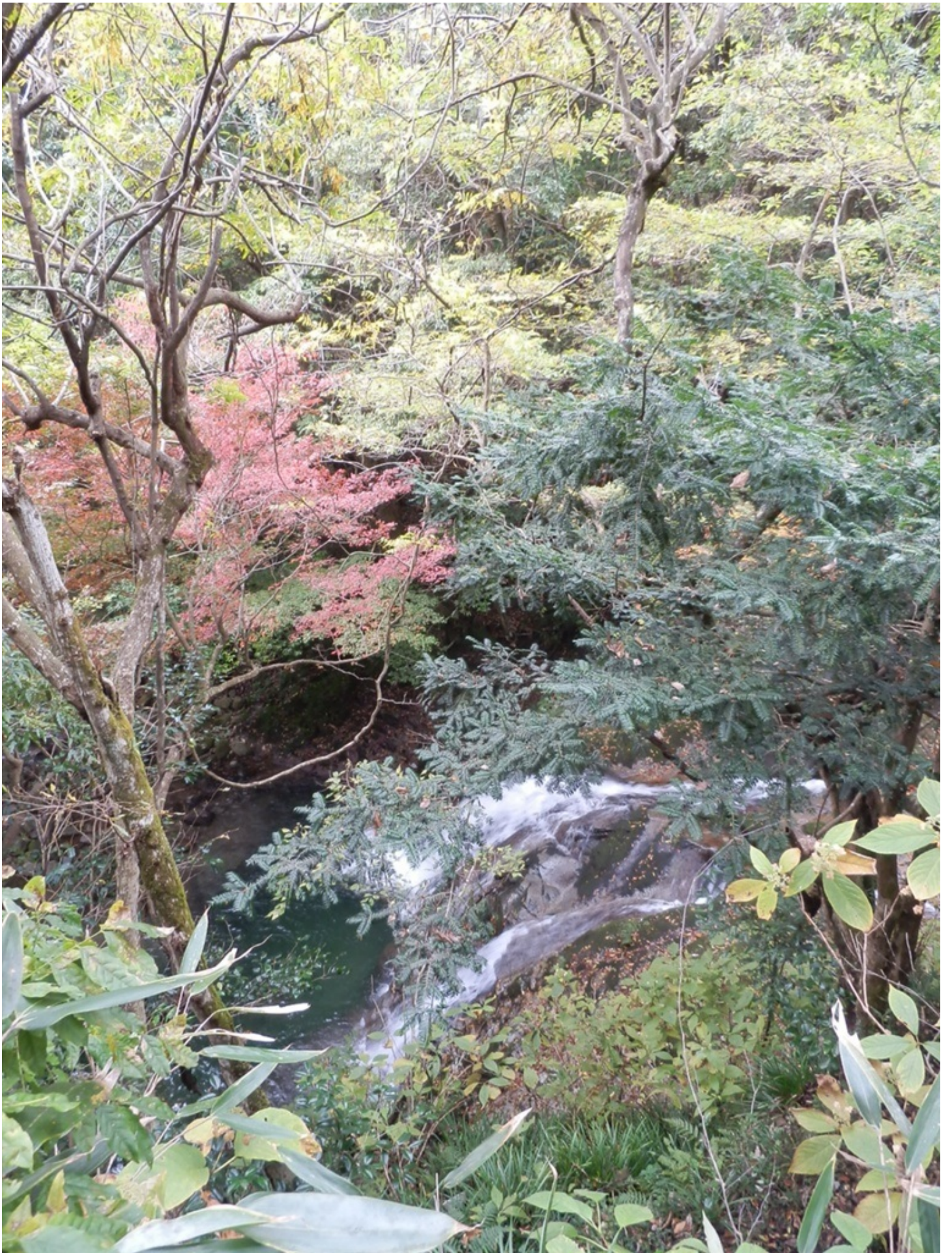


コース沿いには清流。

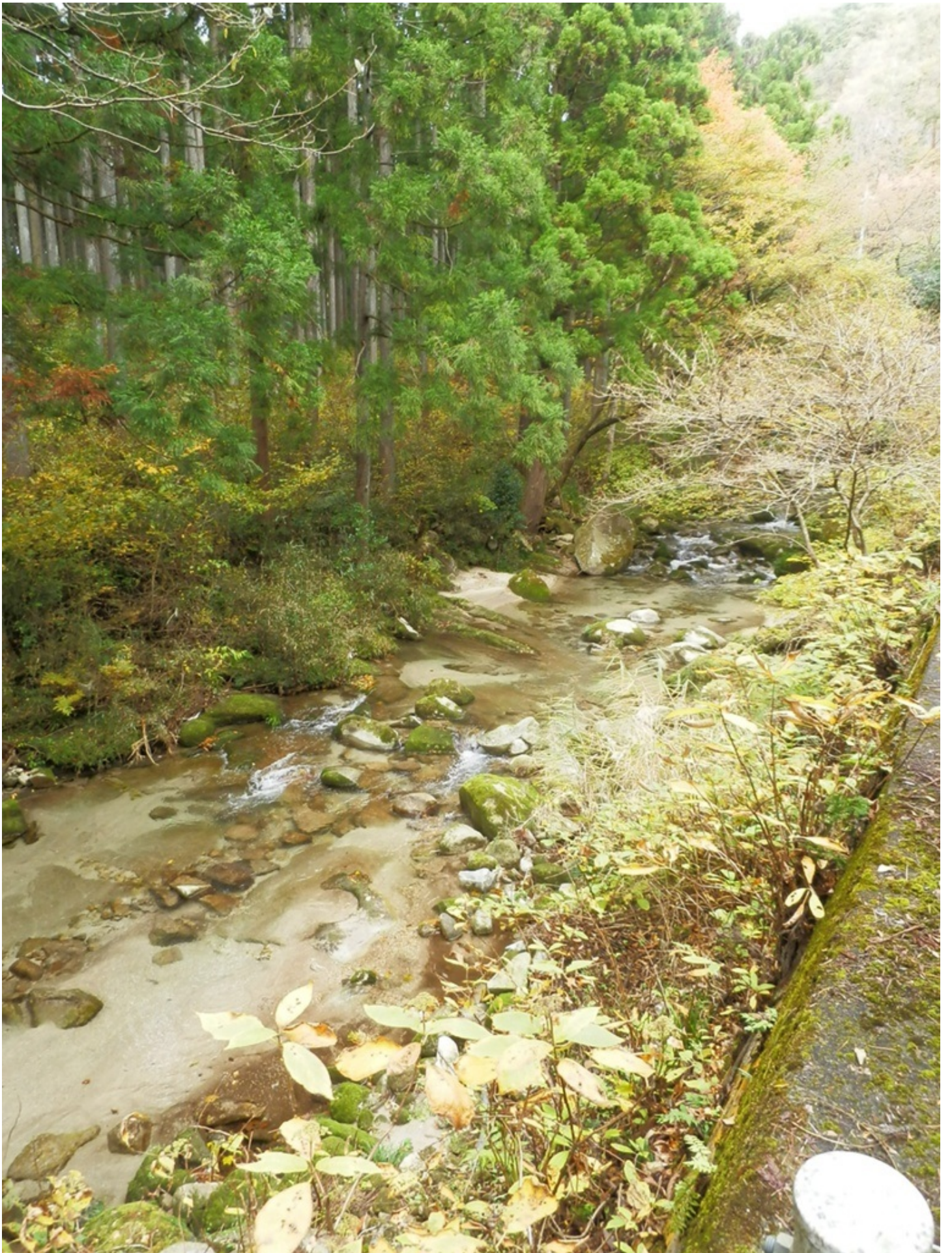
爽やかな水の流れる音を聞きながらの散策です。



ゆっくり写真を撮りながら回っても、1時間あれば十分なコースです。







花貫溪谷のシンボリックな存在でもある「汐見滝吊り橋」まで400m
駐車場からの中間地点。



路肩に咲いていた花。
ピンクのサザンカでしょうか？

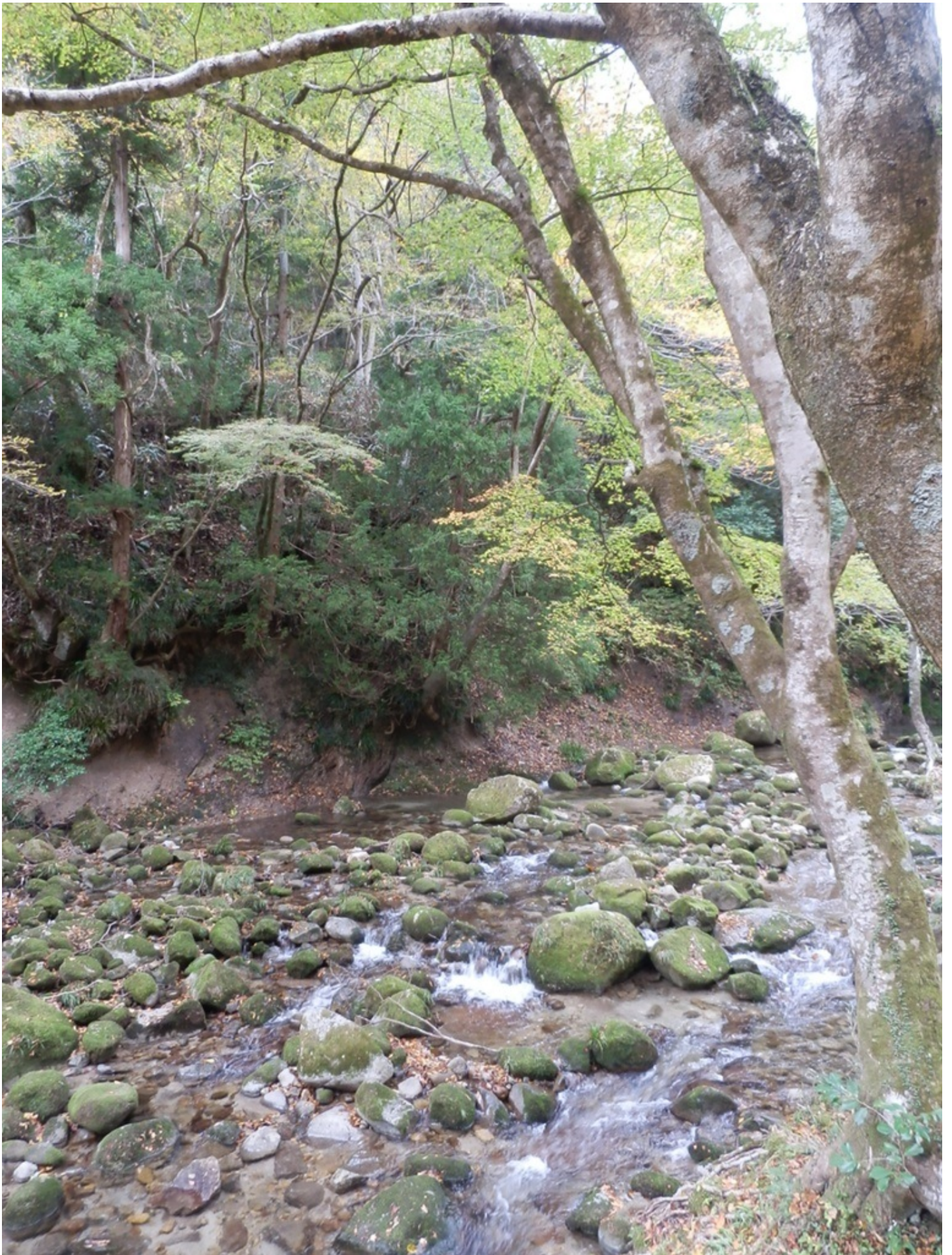


往路は上り坂です。











花貫溪谷のシンボル

コースには、所々 川の近くまで下る事が出来る場所があり
頭上に「汐見滝吊り橋」が見えてきました。





セルフタイマーは、12秒 ^^;

カメラのセルフタイマーをセットして

.. ・ゞ(。><)シ 急げ~!! そして、自然なポーズ!!(;´3`~)♪.♪







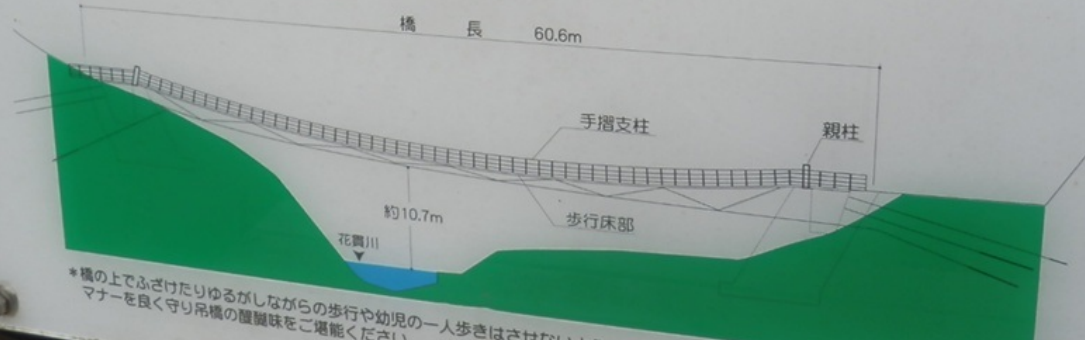
しおみだきつりばし
汐見滝吊橋

汐見滝吊橋は、平成2年に整備されましたが、長年の厳しい気象条件により、木質部材が腐食したため、平成16年3月に大改修を行い、以前と同様に生まれ変わりました。

この吊橋は利用者の安全を守りながら花貫溪谷の自然景観にも調和するよう、地元特産のスギ材が使われております。特に、主索ワイヤーロープ上の歩行床部には、255本の加工丸太が使われており、親柱・手摺支柱部にも鋼材を覆うように106本の加工丸太が使われております。

吊橋からは、眼下に汐見滝や四季折々に変化する花貫溪谷を眺めることができ、訪れる利用者の目を楽しませてくれる名所となっております。

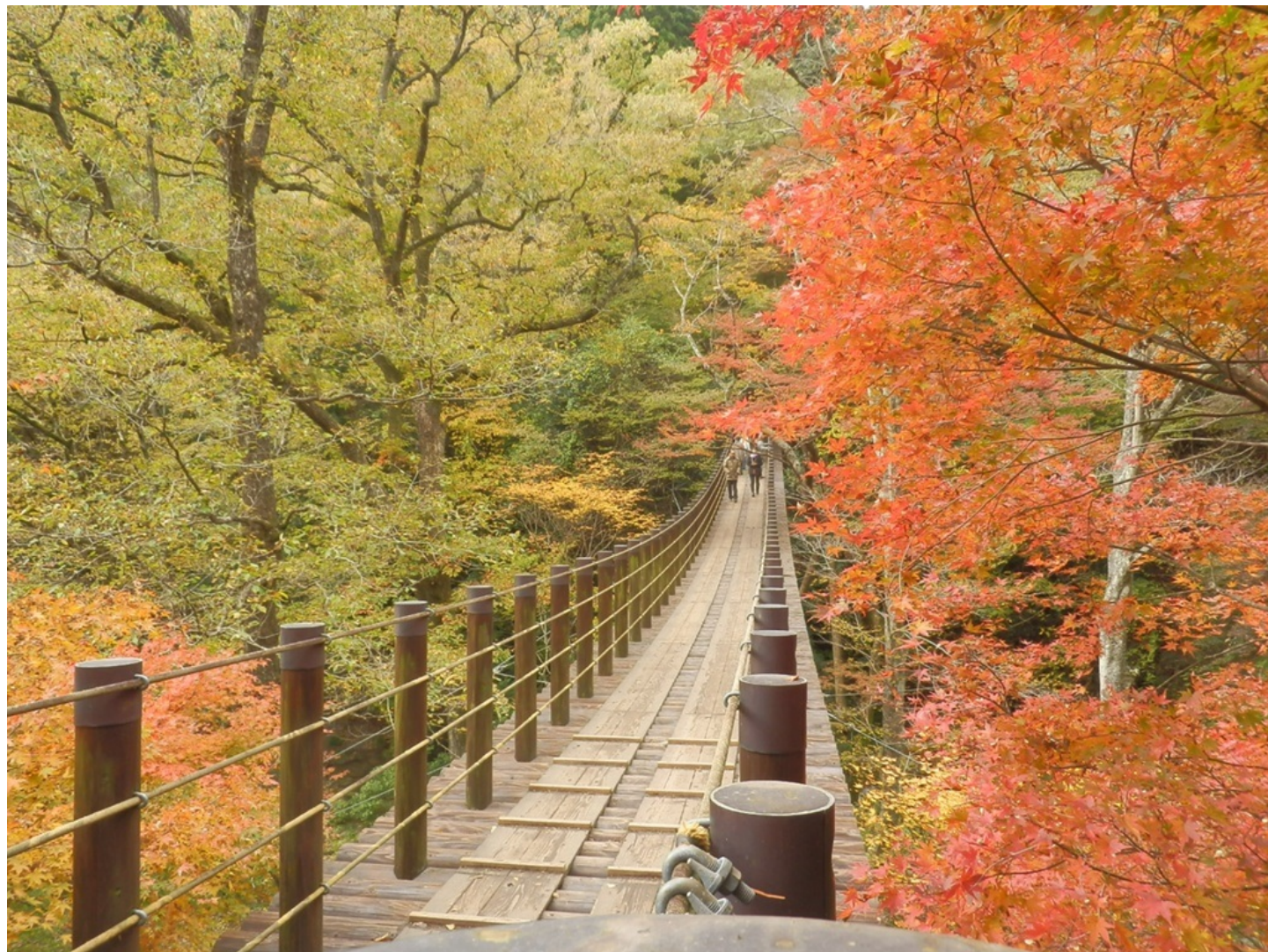
(構造)	キャット・ウォーク式木製吊橋
(主な部材)	橋長 60.6m、幅員 1.5m、 ワイヤーロープ等 309.0m 木質部材 26.0㎡







「汐見滝吊り橋」です。



「汐見滝吊り橋」とその周辺の写真がしばらく続きます～。



一番人気の撮影スポット

それぞれカメラを持った方々が列を成す人気撮影スポットで
団体の集合写真ともなると大変な賑わいです ^^;

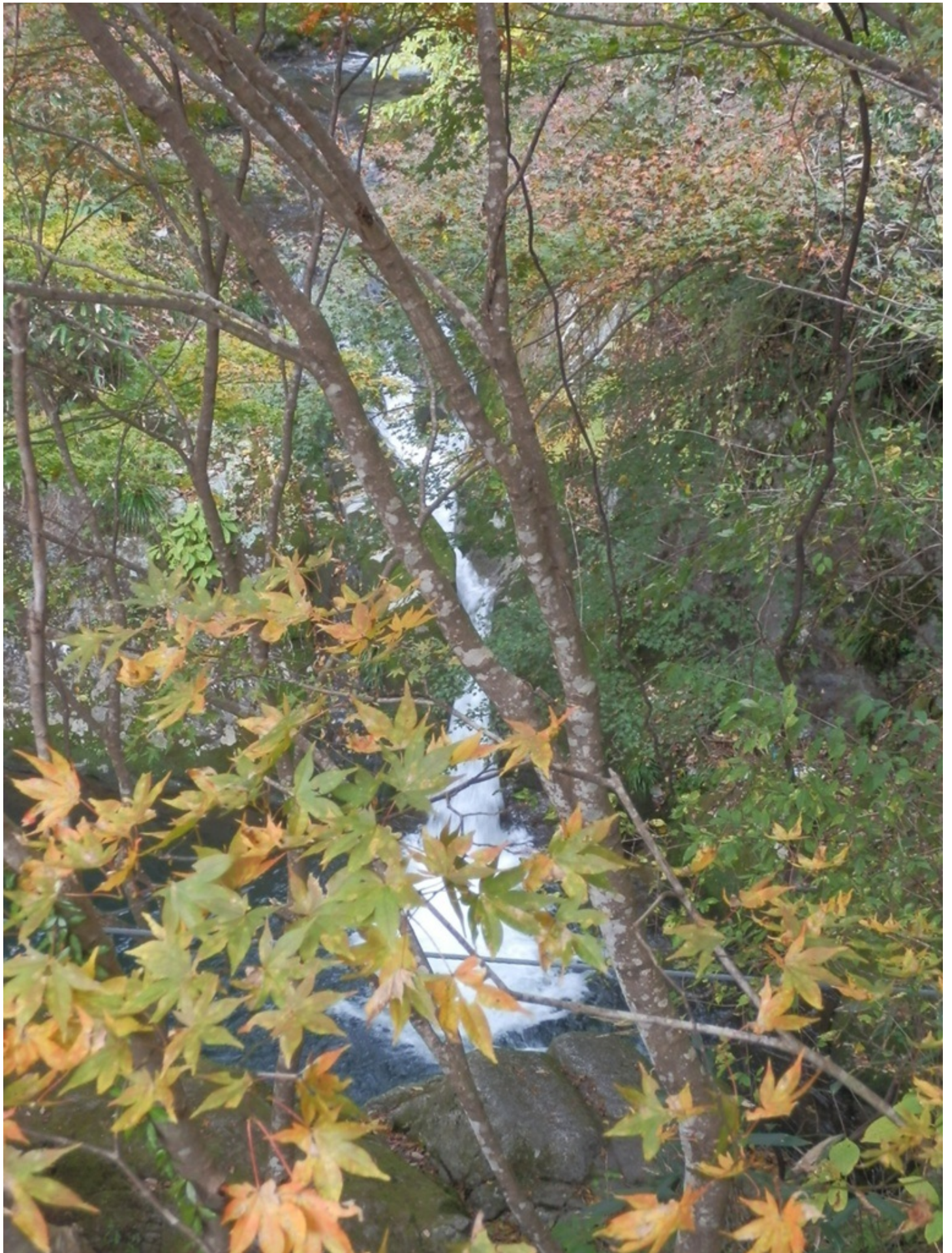








「汐見滝」

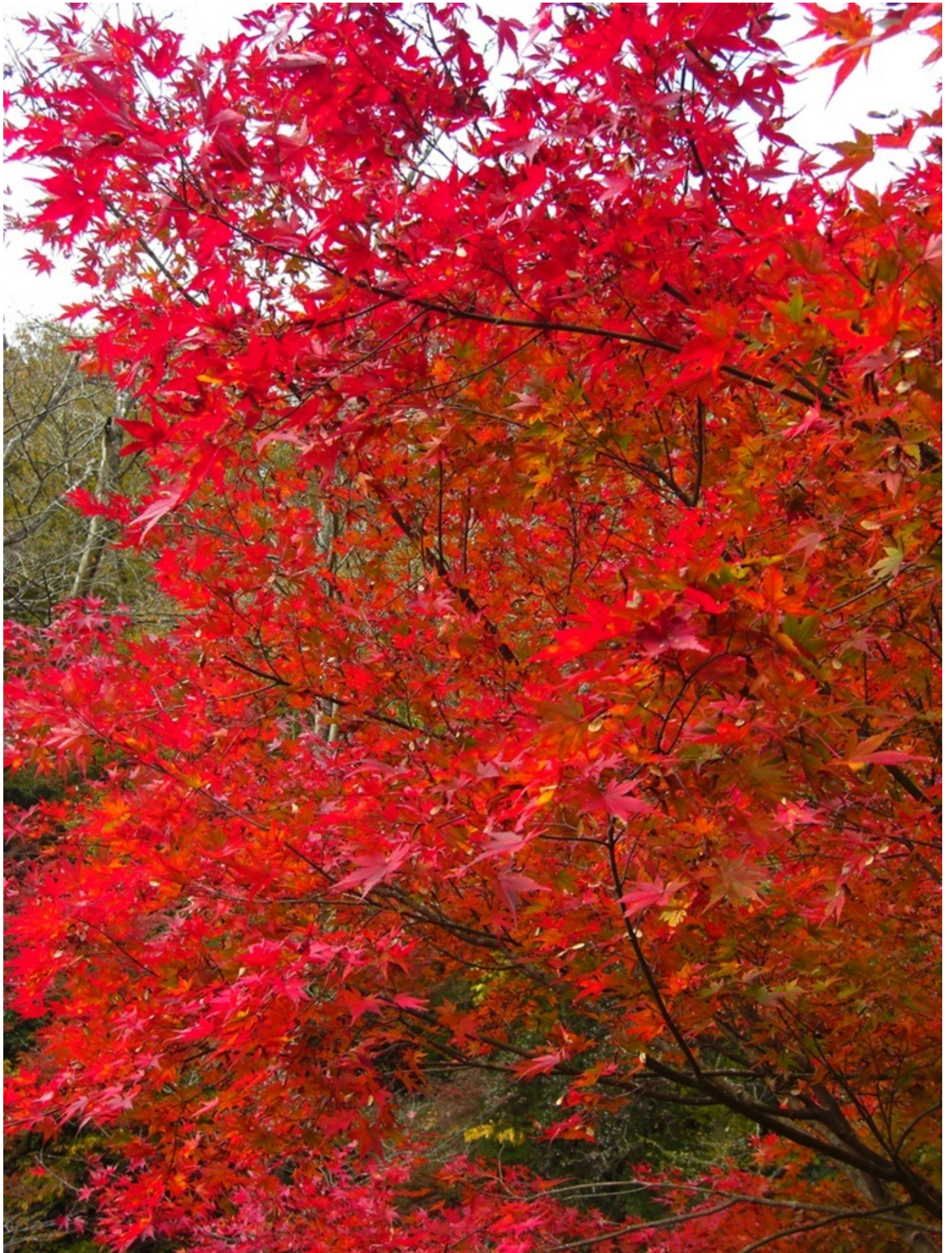






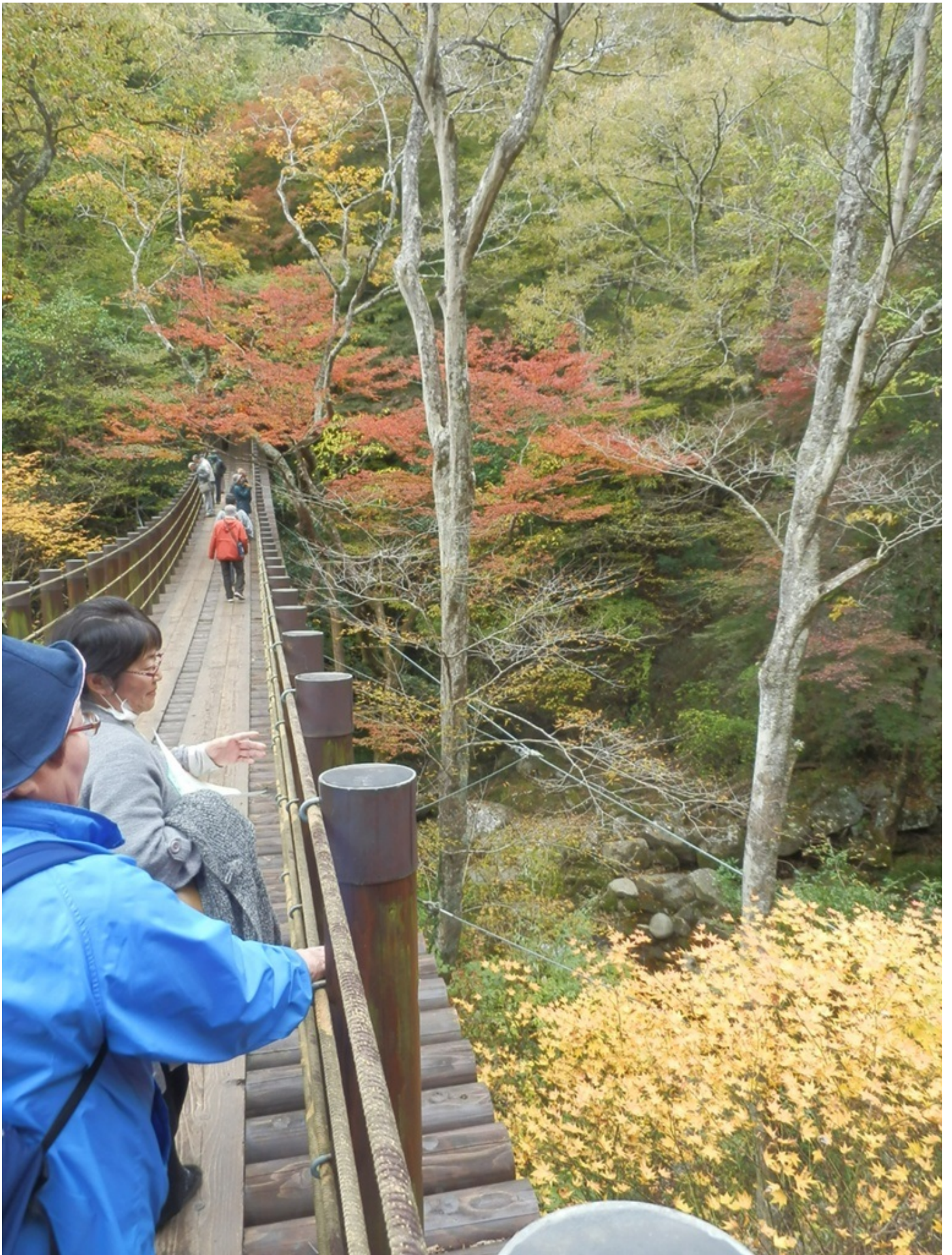










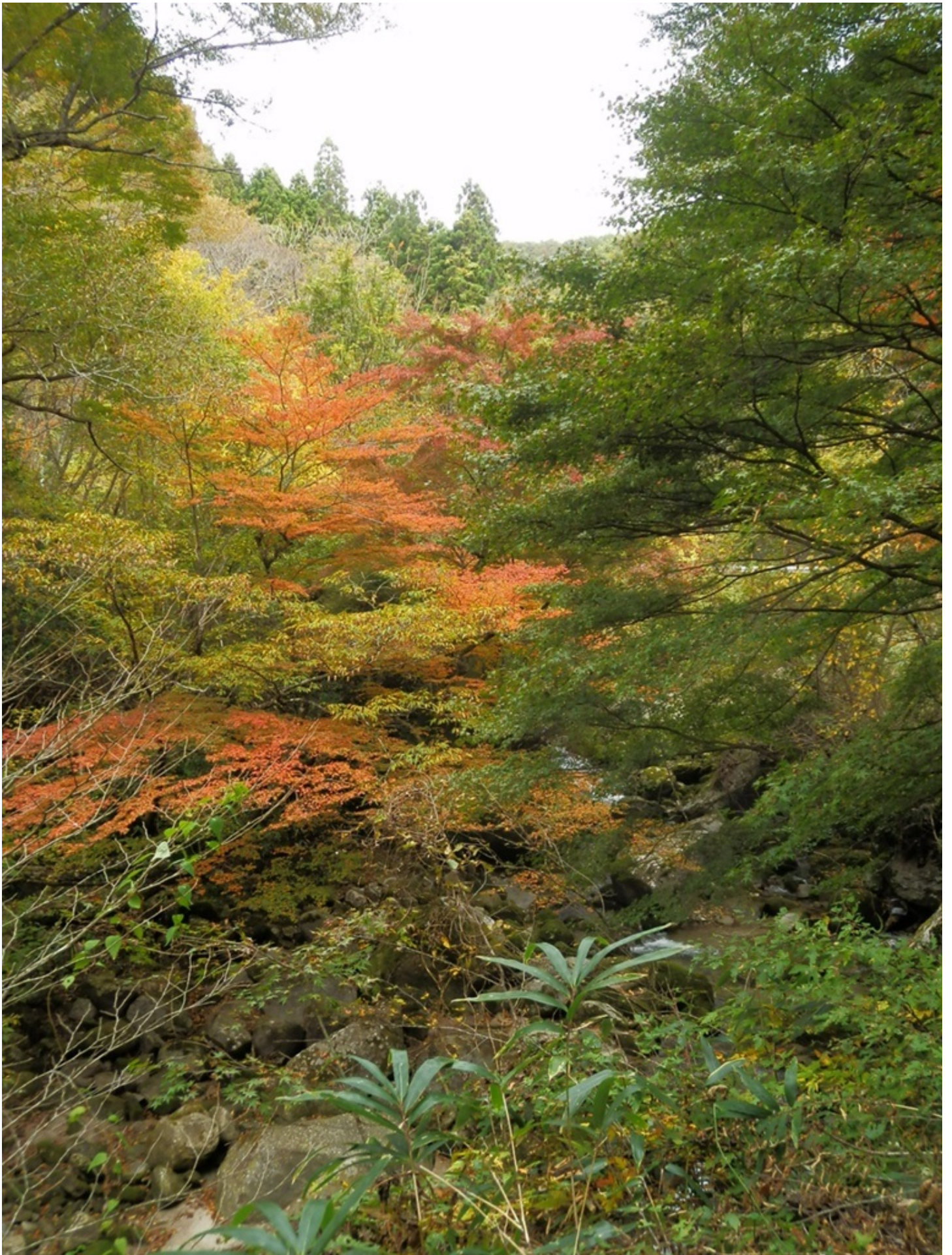


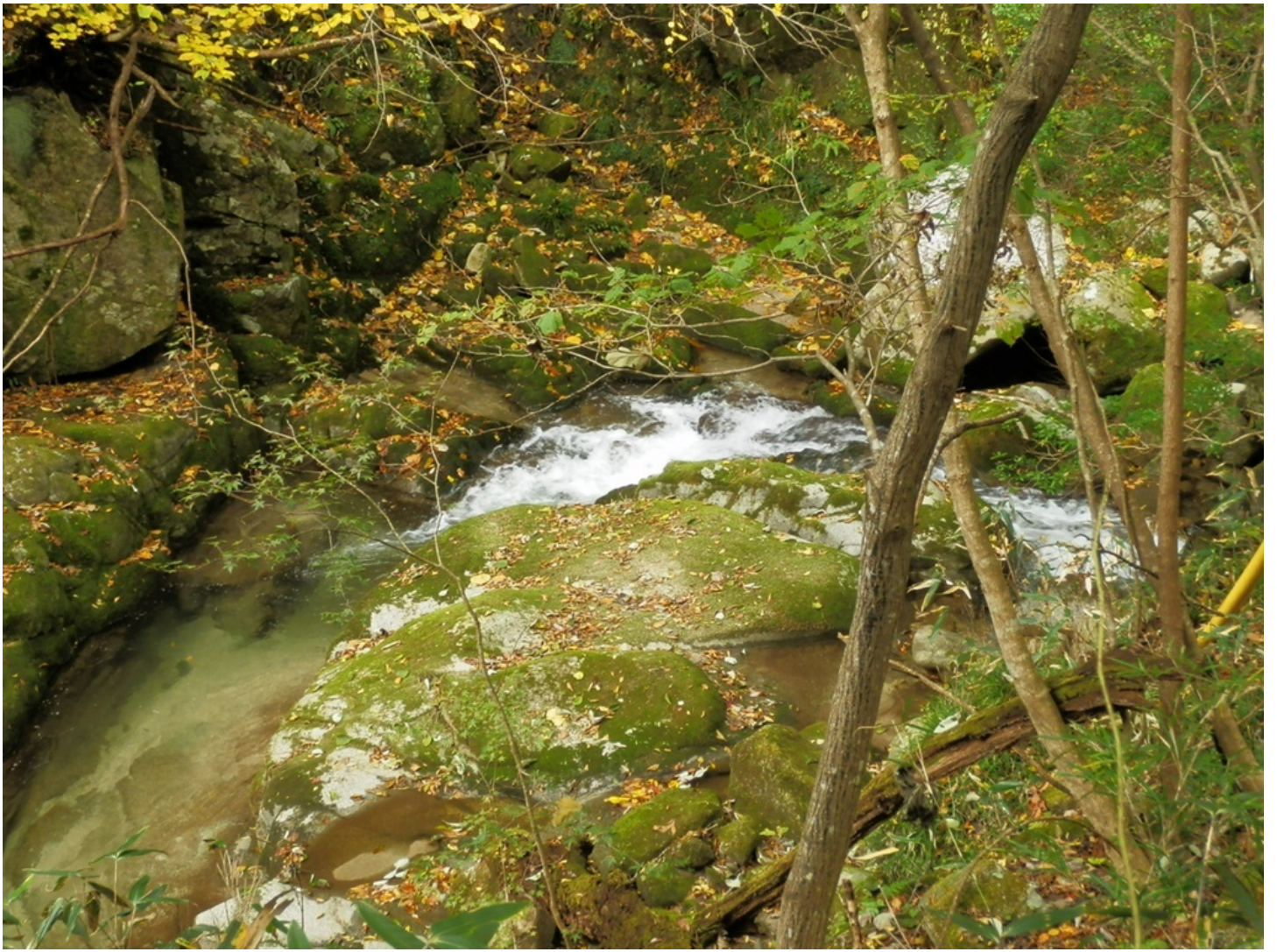


はぎまる地蔵?? ^^

吊り橋を渡った先には、高萩市キャラクターの「はぎまる」





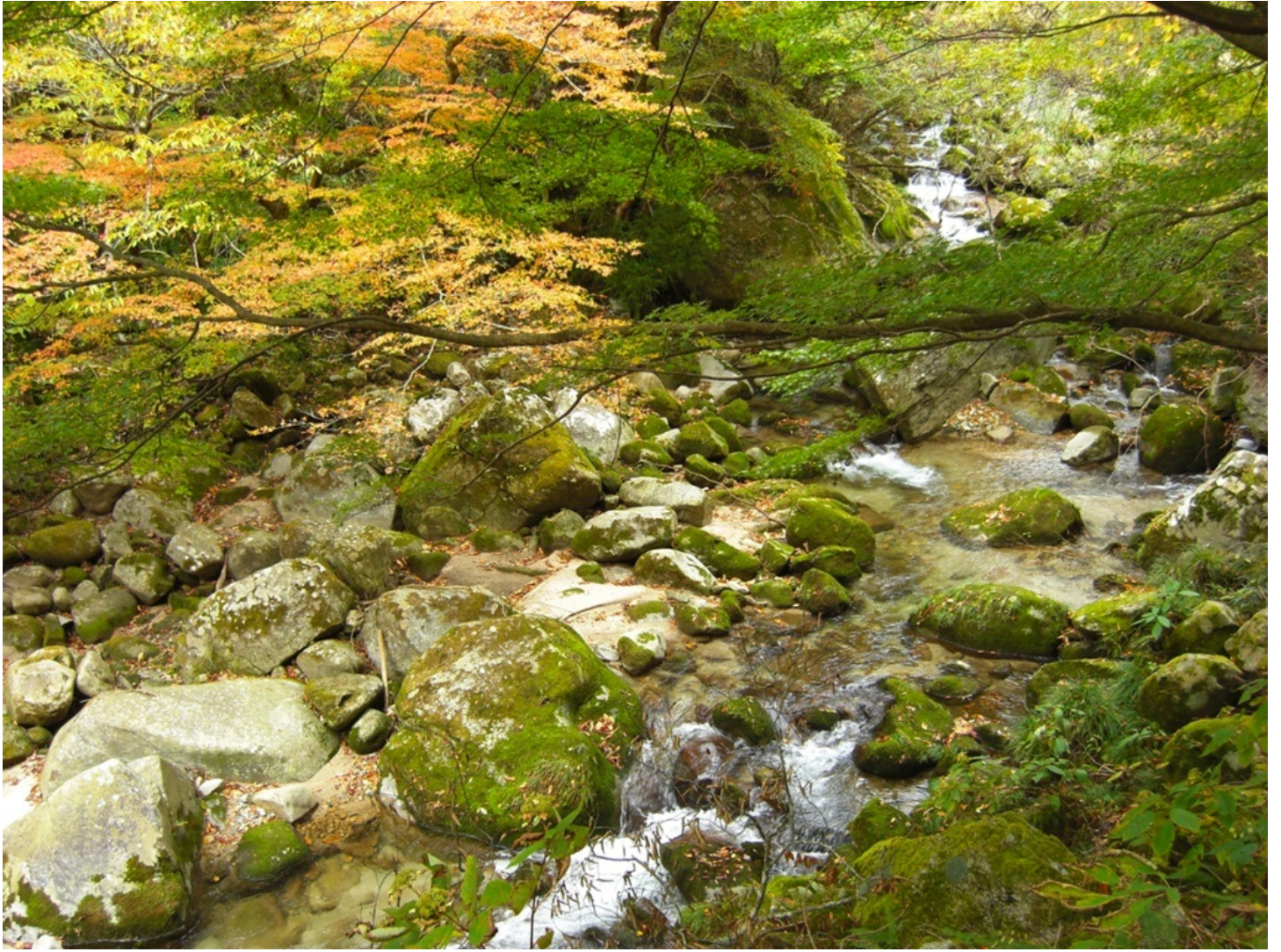




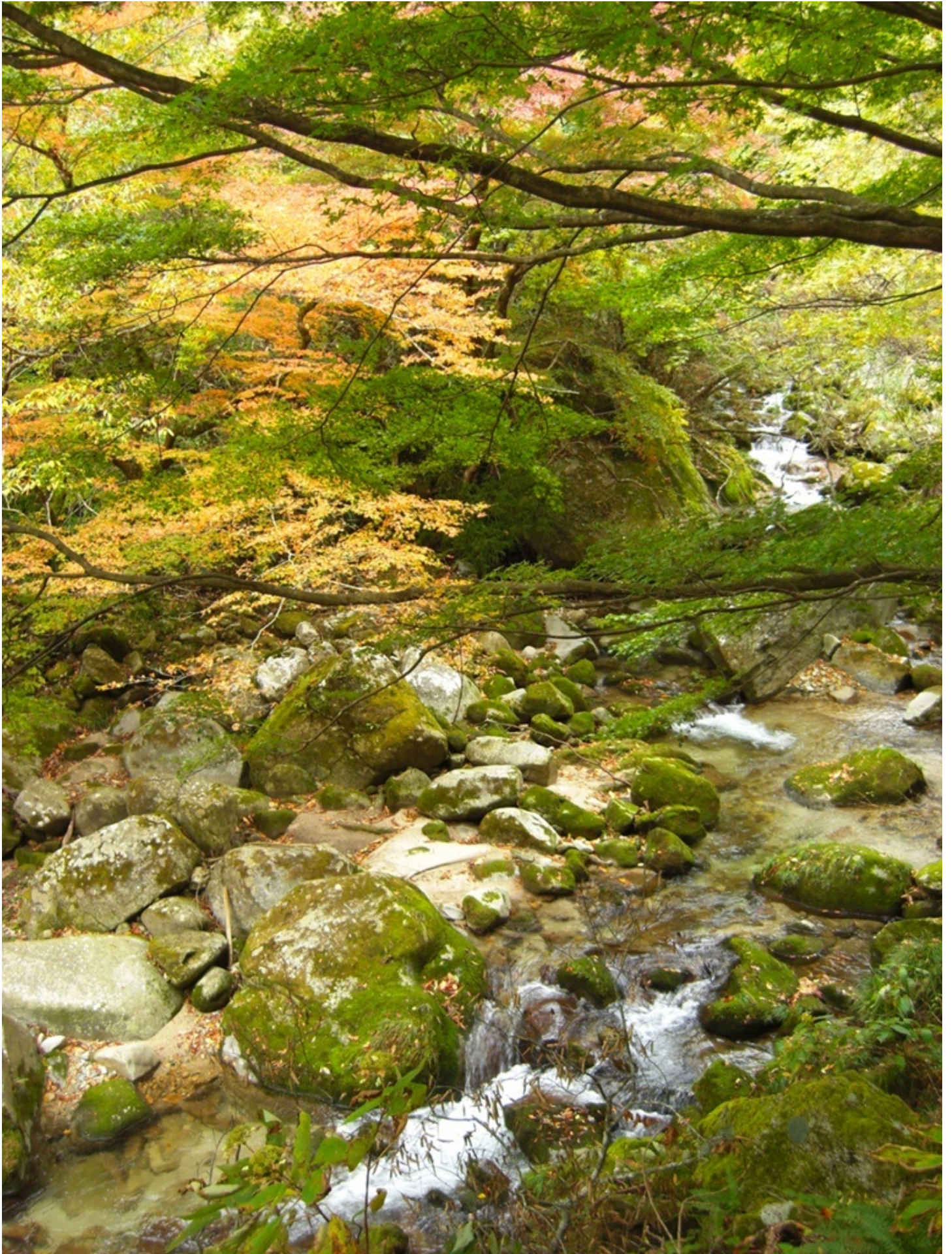
川にはたくさんのもなき小さな小さな滝があります。

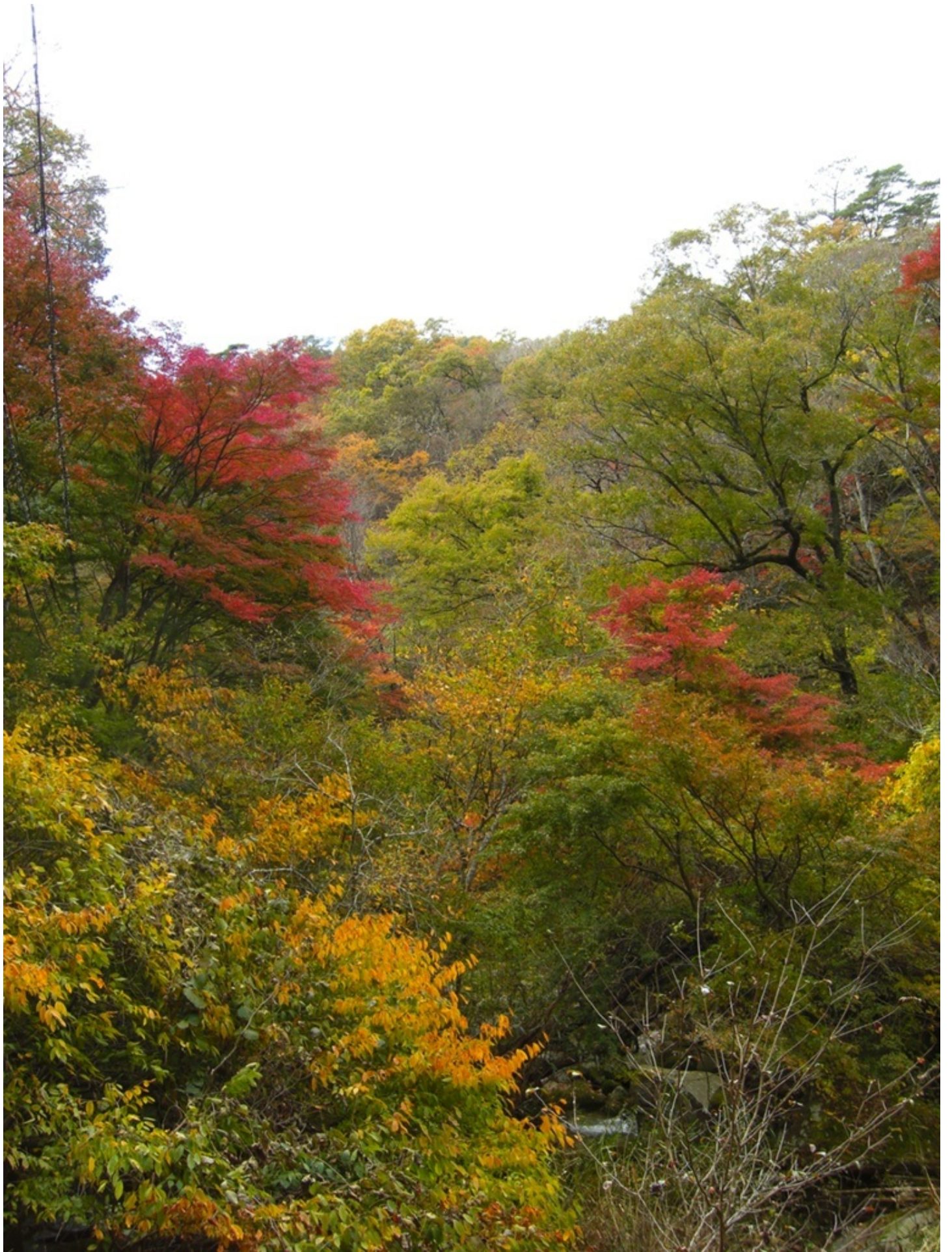


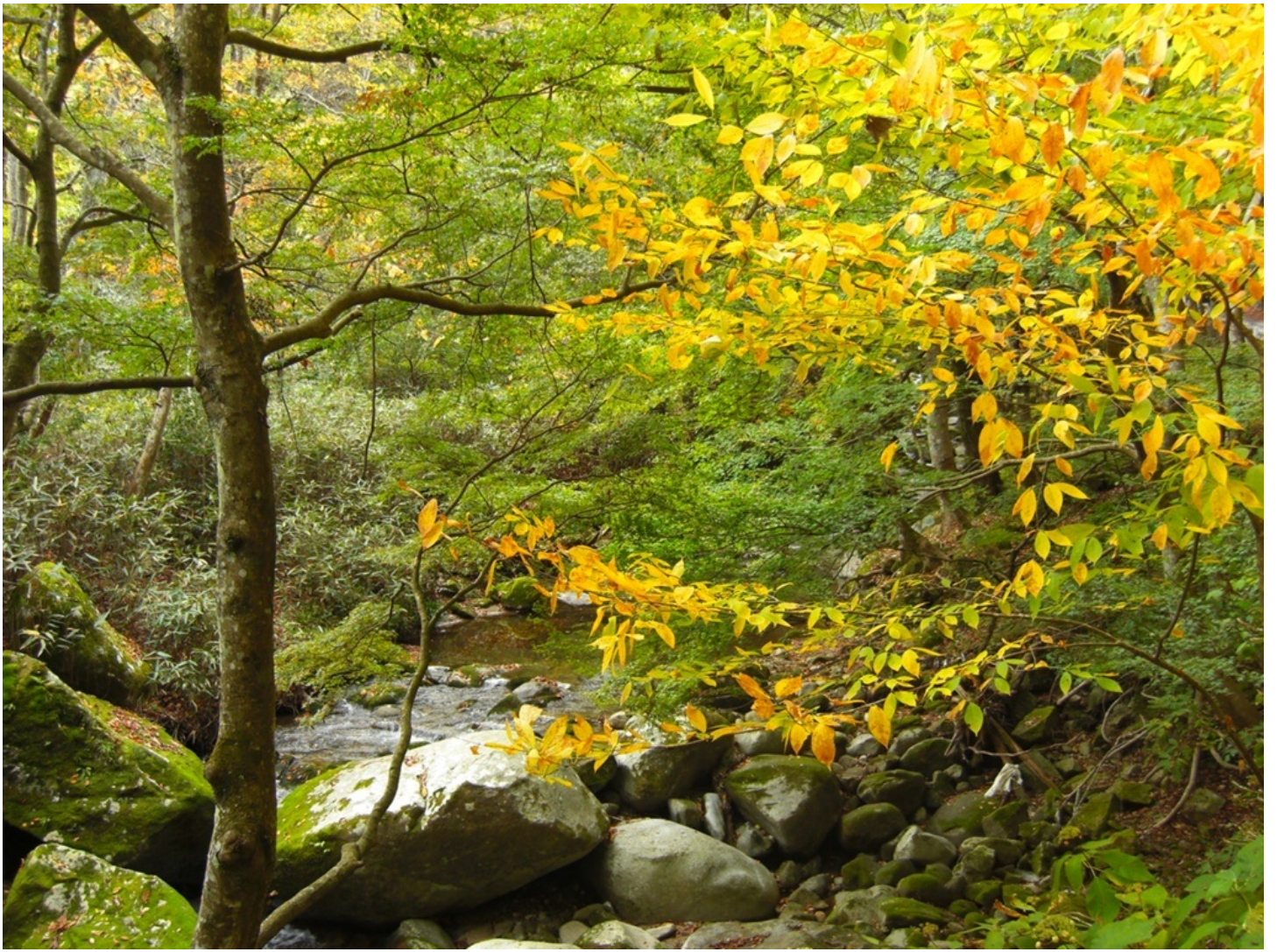
「汐見滝吊り橋」をあとに、更に先に進みます。

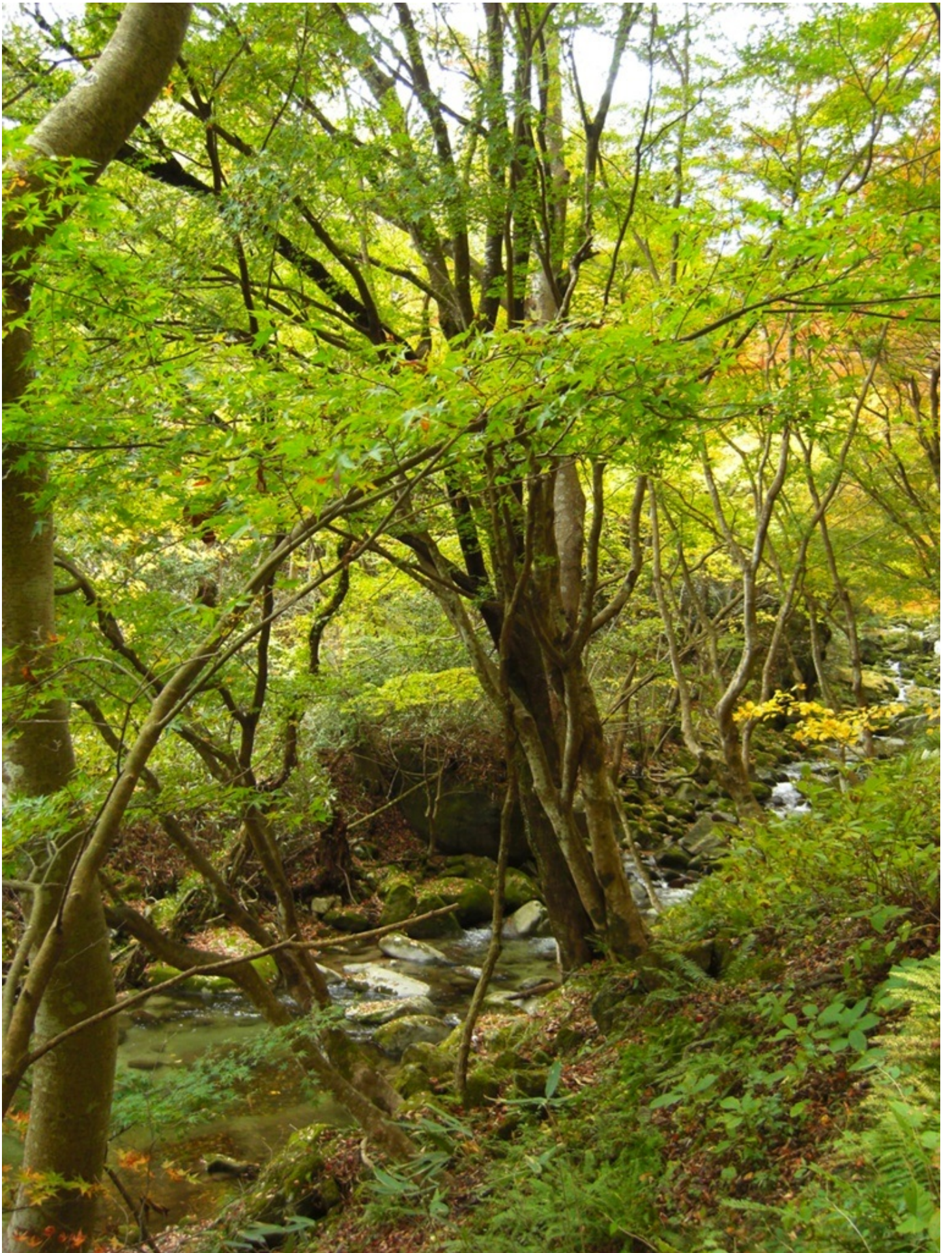


しばらく川沿いの紅葉が続きます。



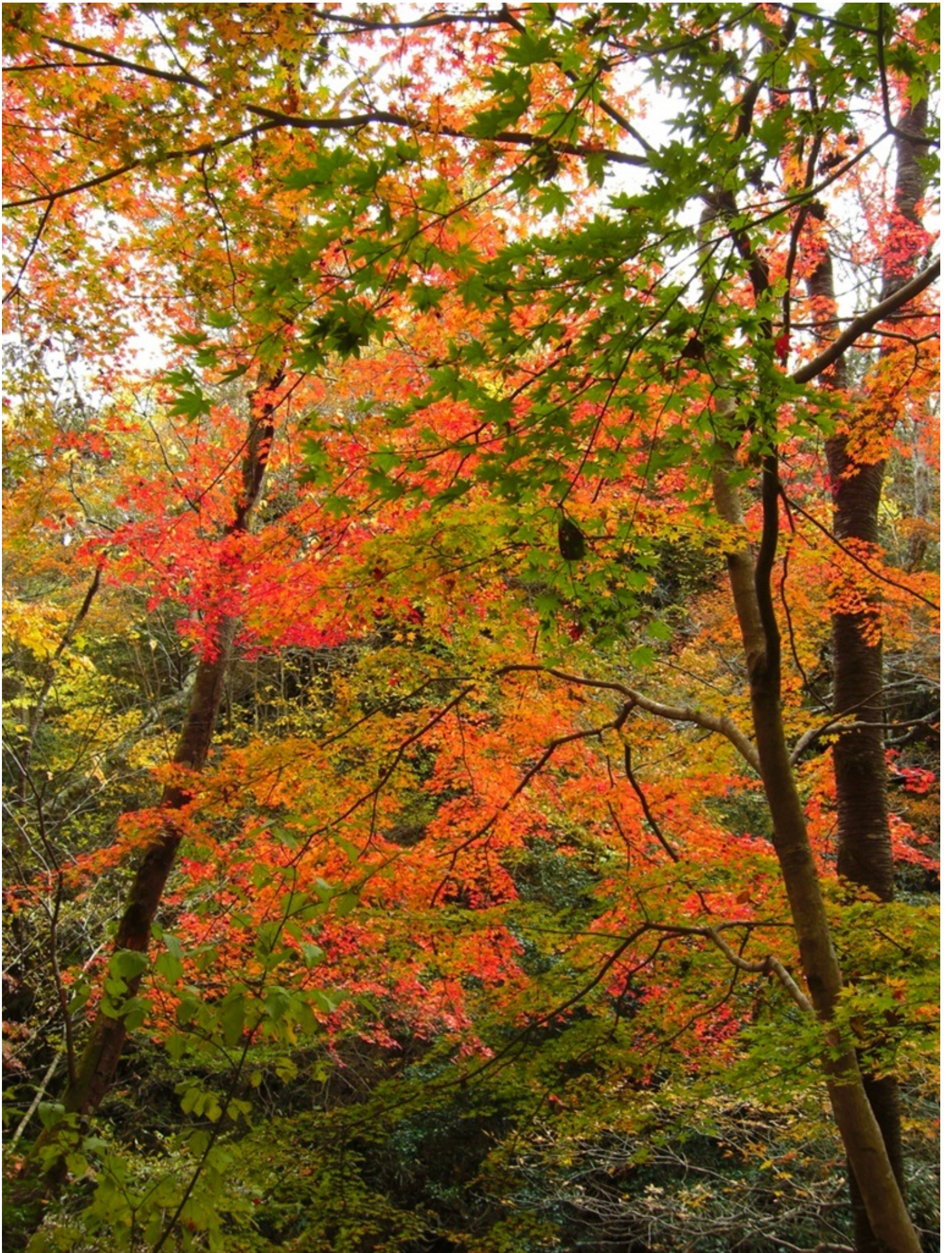




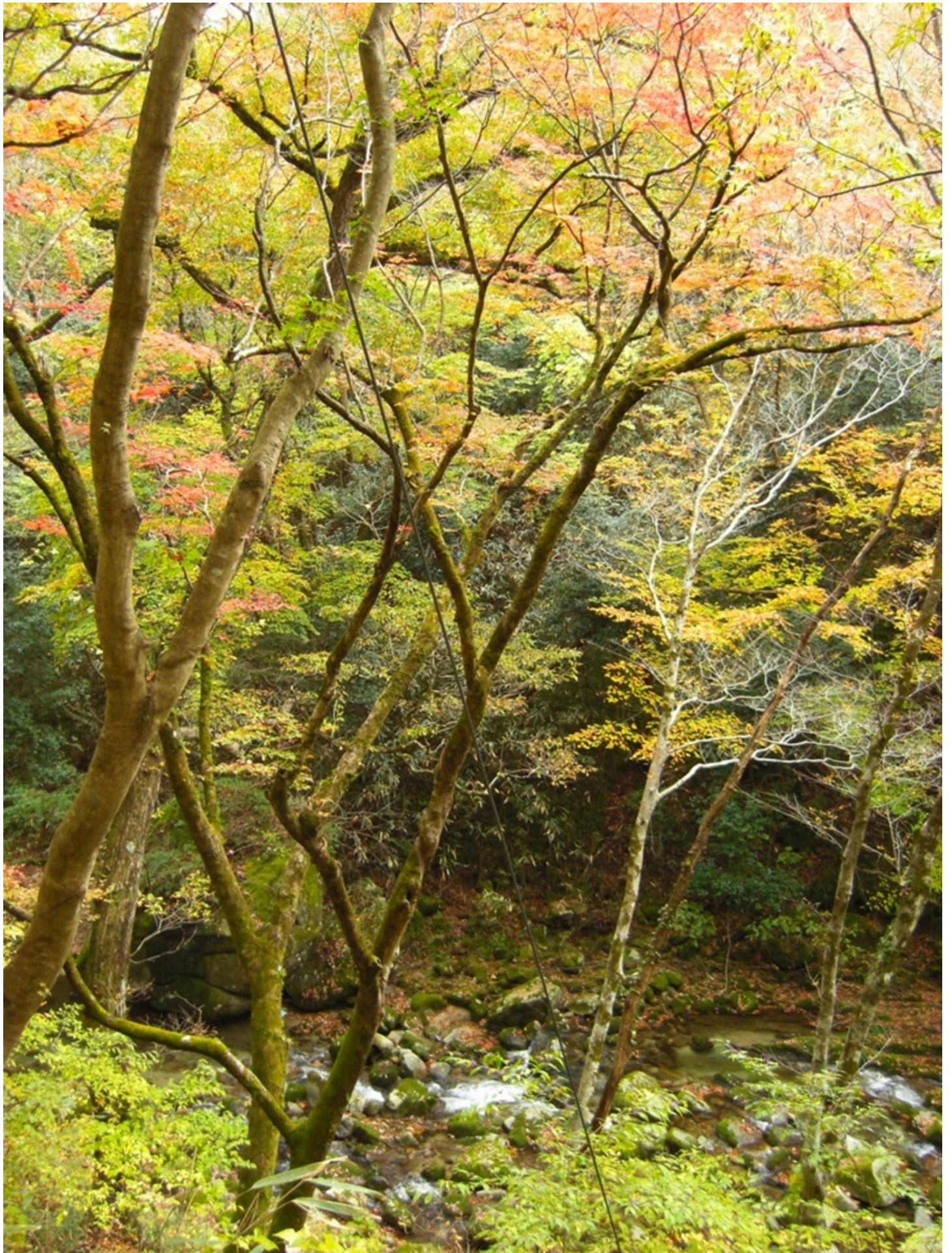












「汐見滝吊り橋」を過ぎると、人が激減。

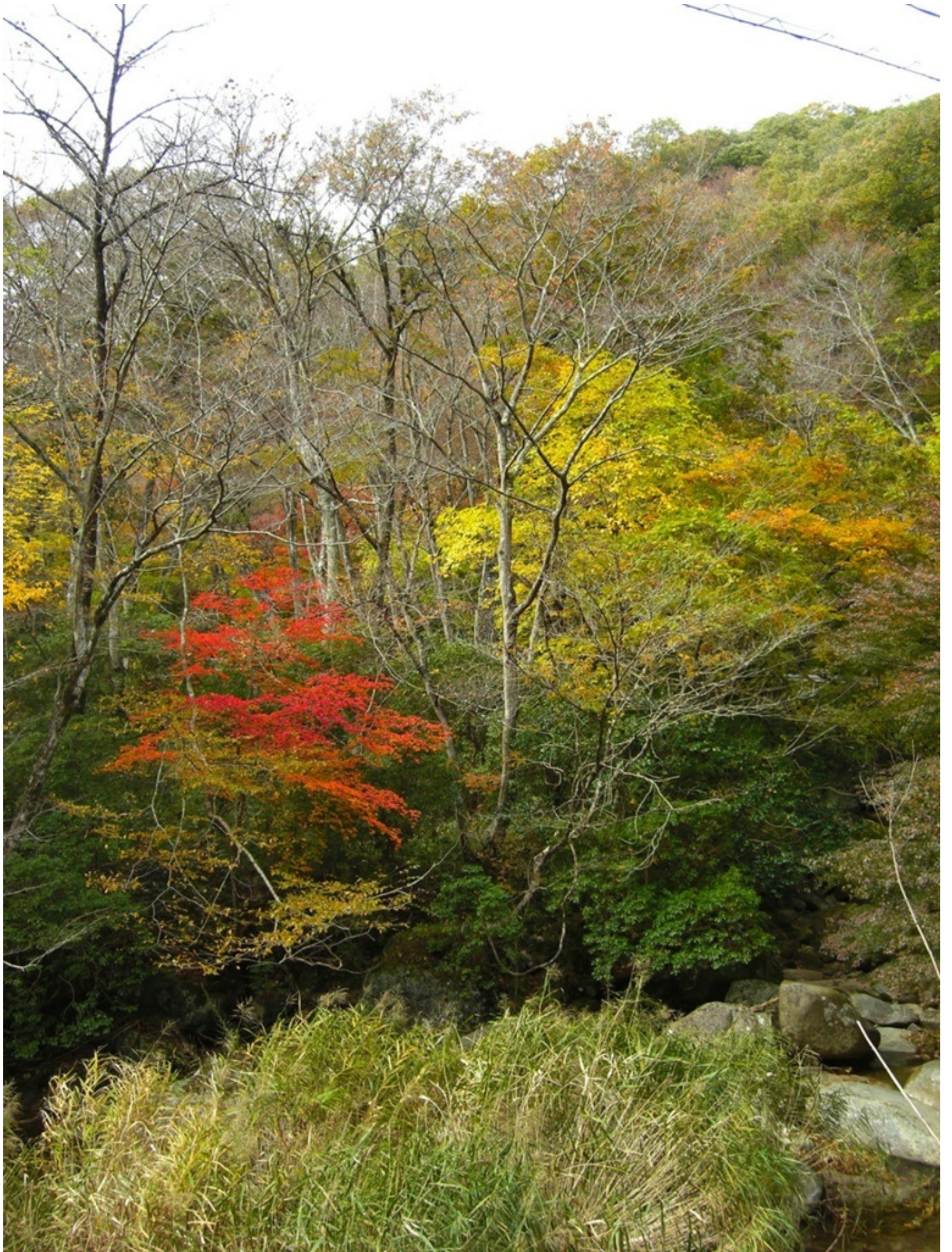


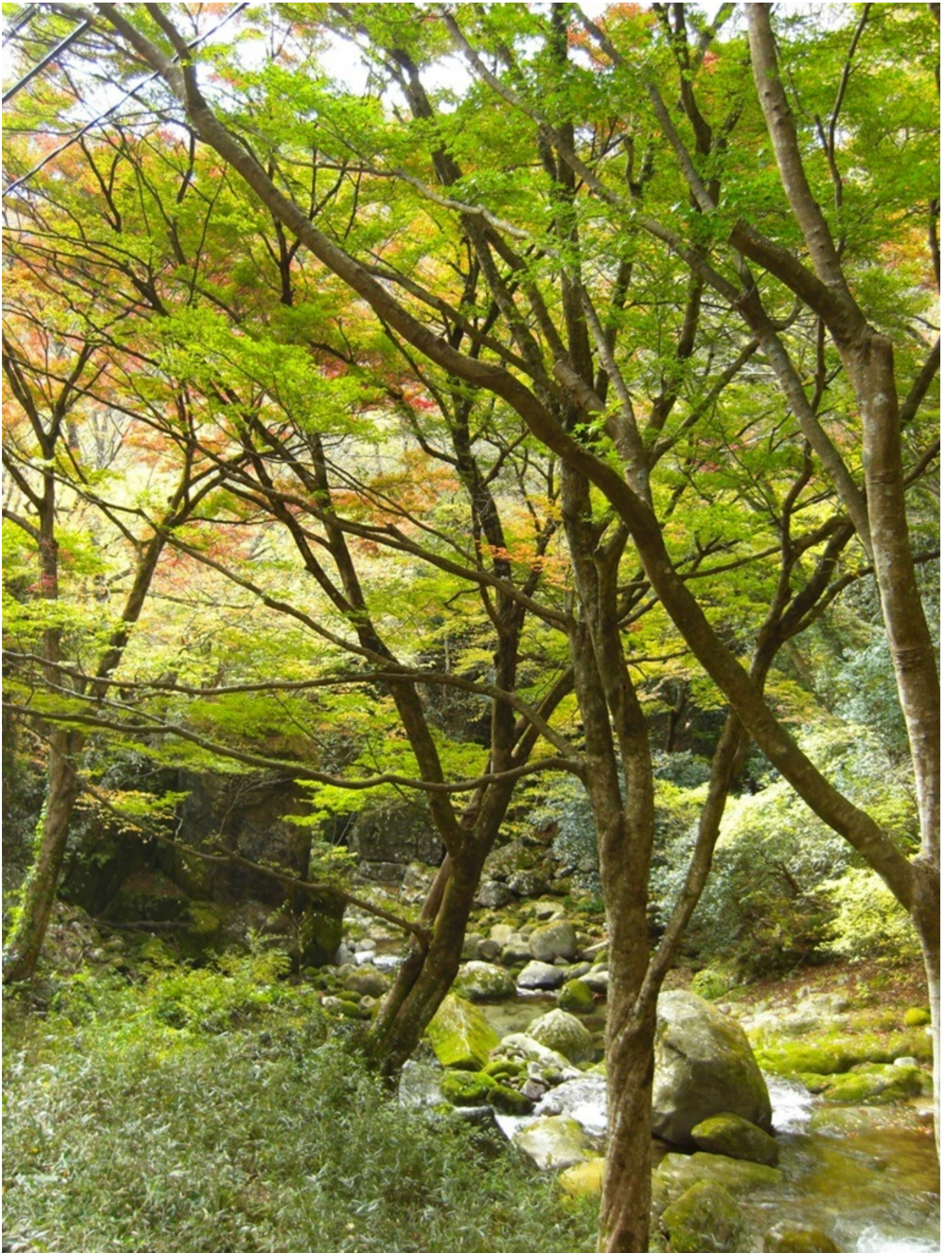
せせらぎを聞きながら、静かな紅葉狩りが楽しめます。

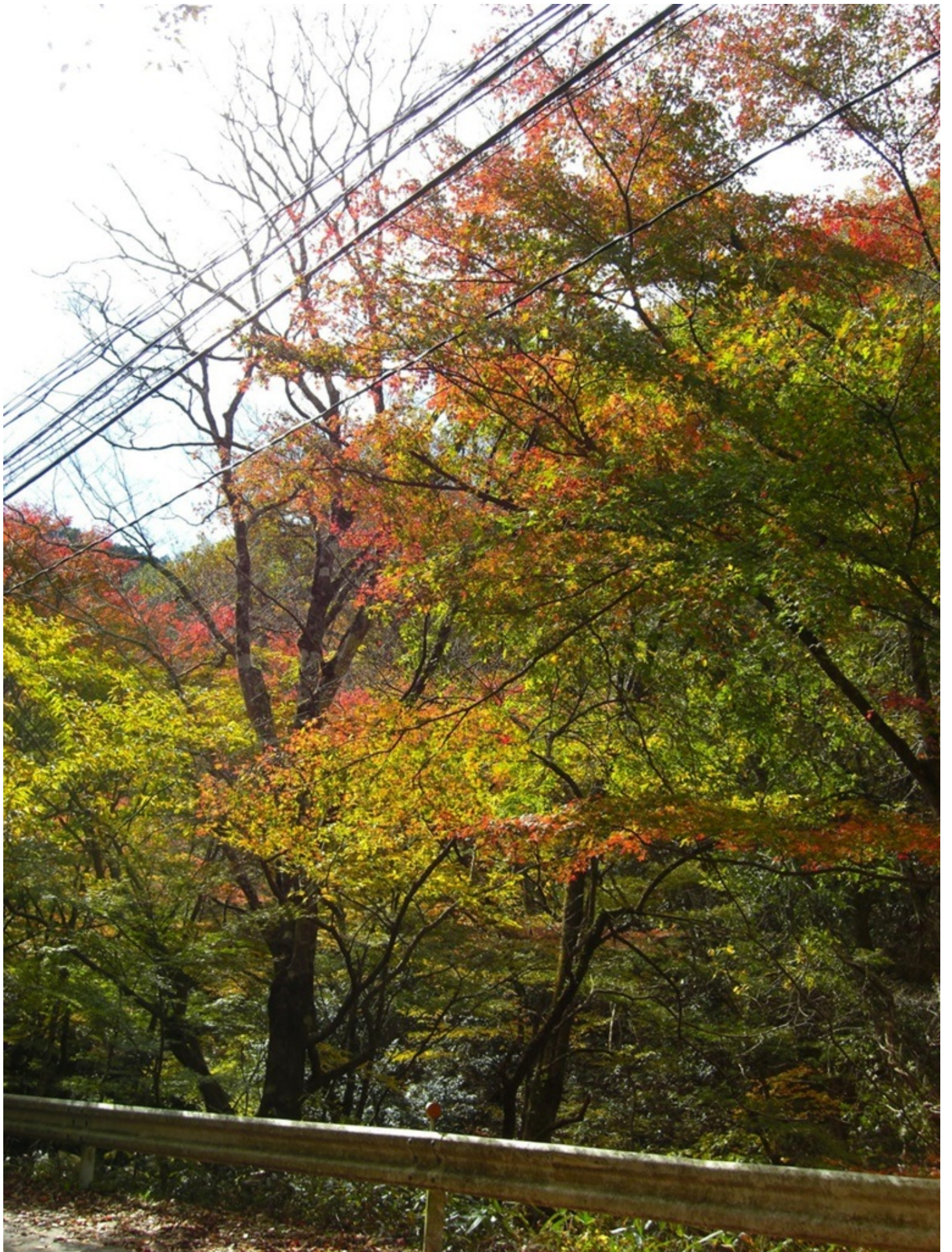


正直、吊り橋付近は騒がしかったので、ホッと一息 ε~(、)7-

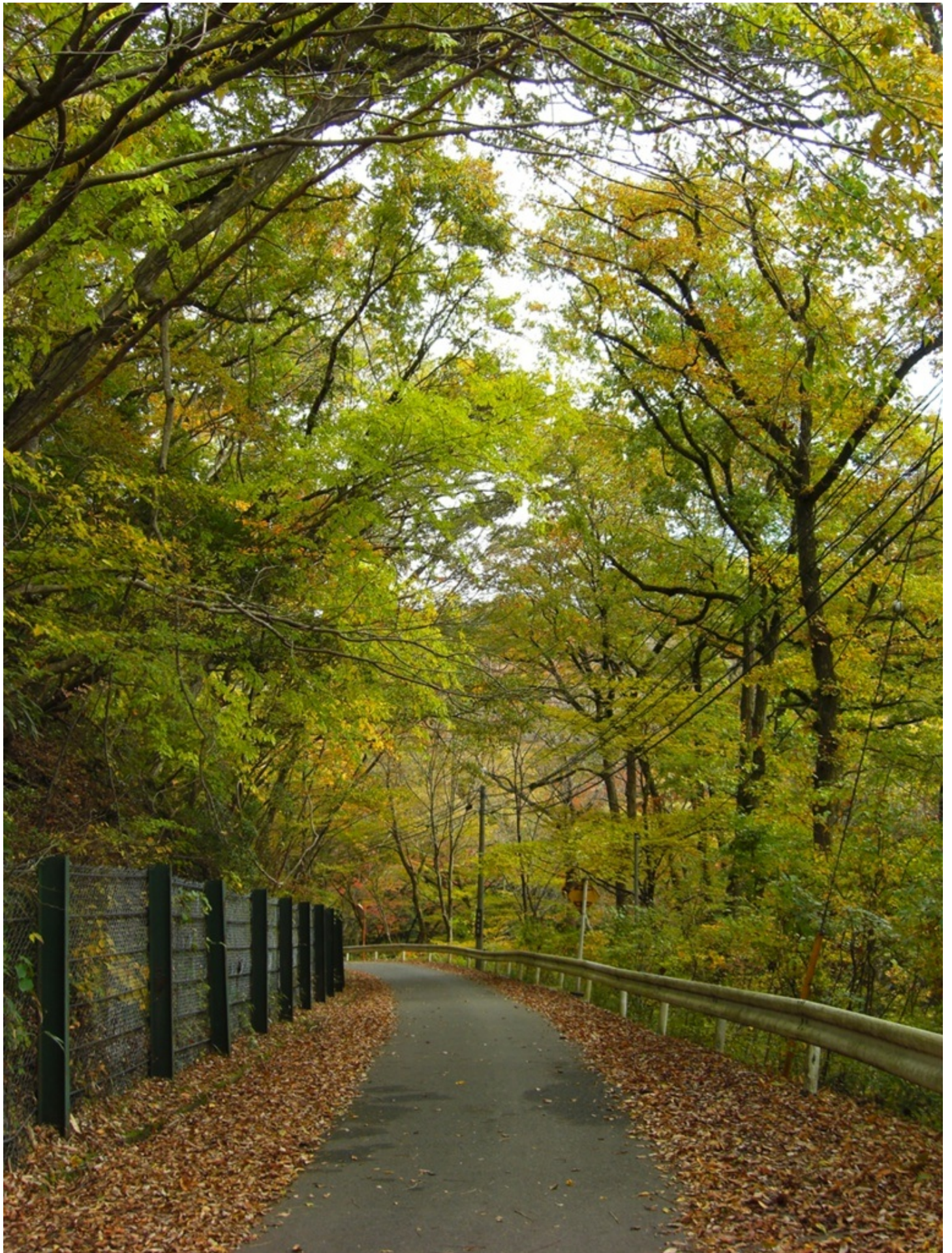






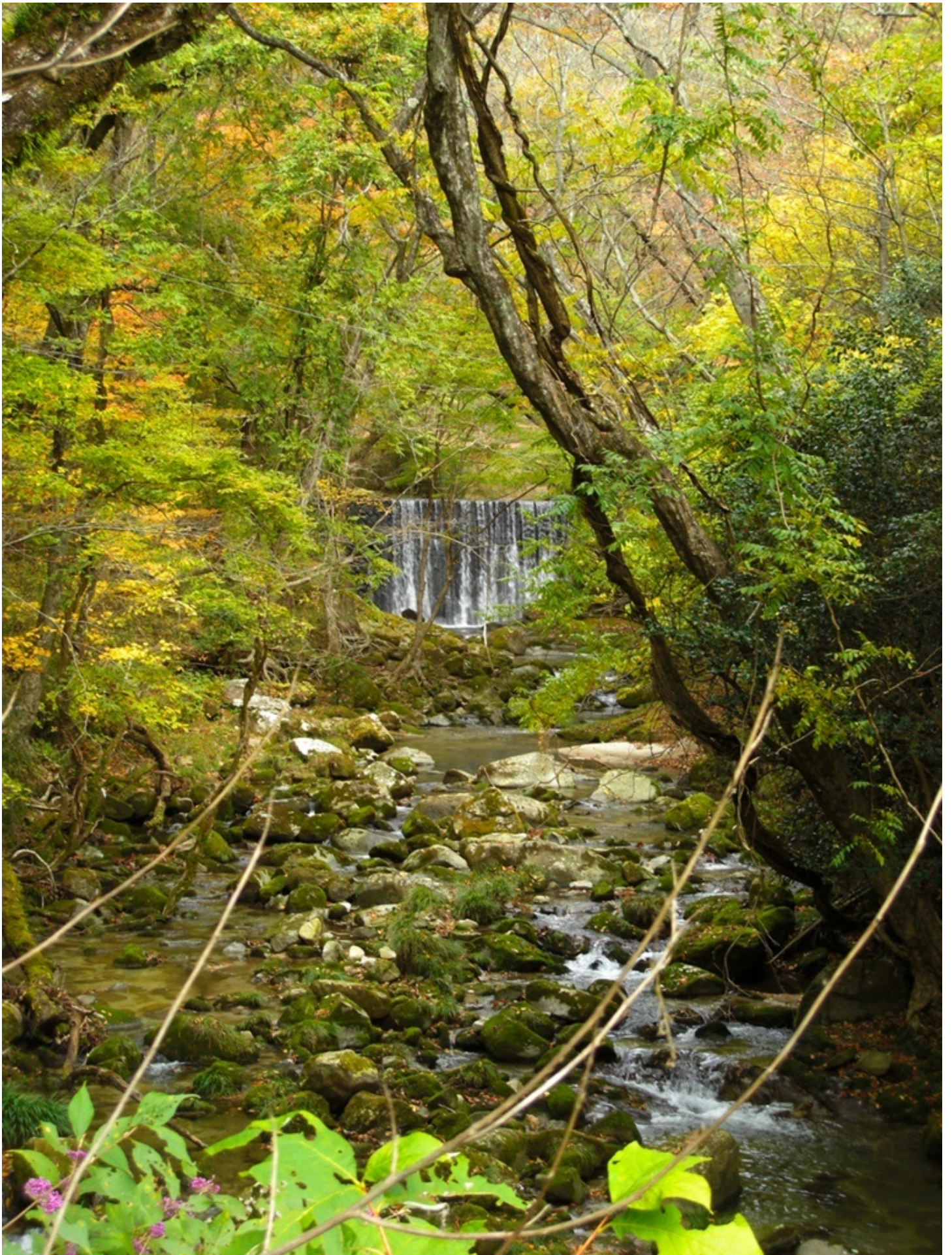


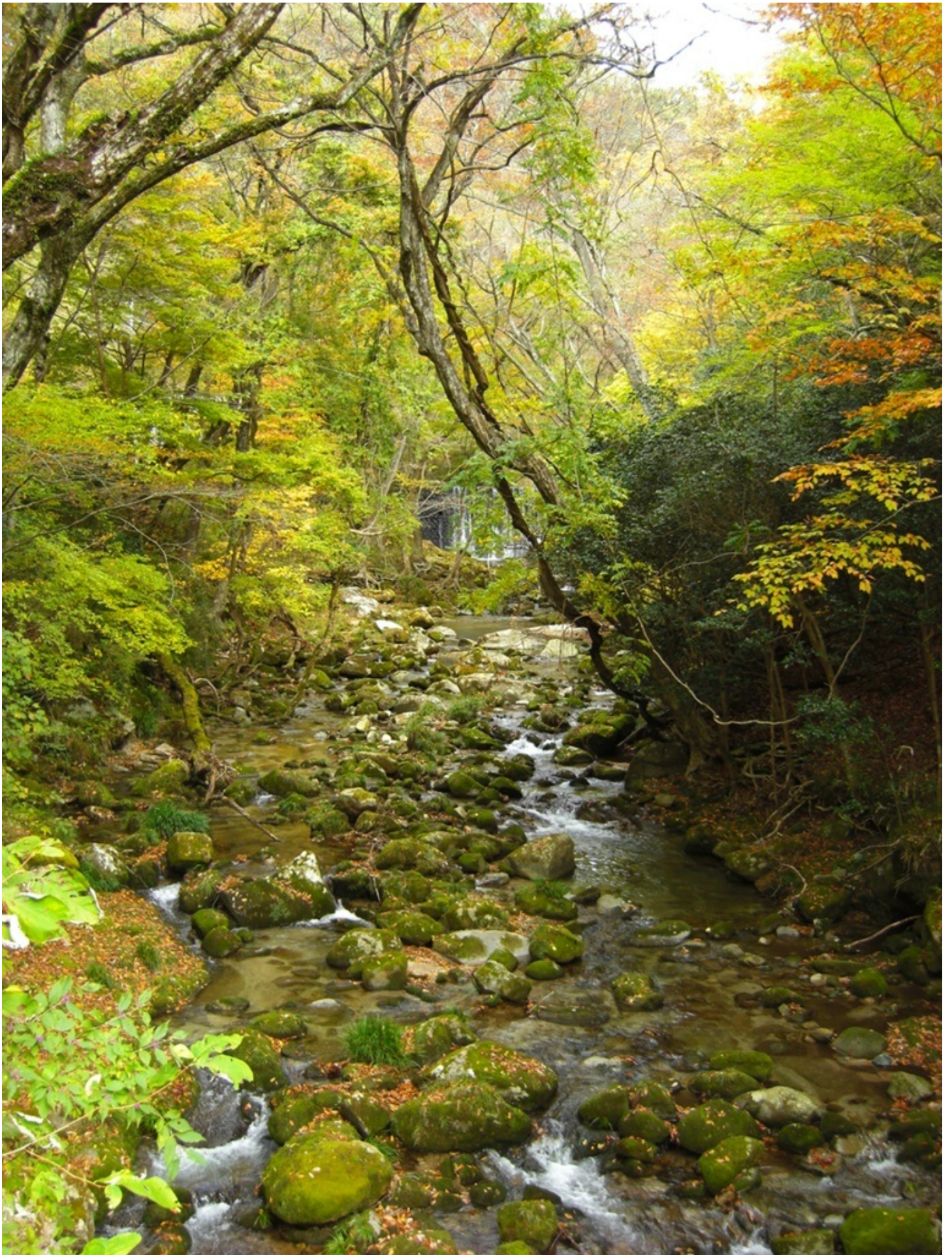
静か



聞こえるのは、滝の音だけ

短い滝の映像です。 <https://www.youtube.com/watch?v=q-YJKcyT5eY>





しばらく歩くと小さなキャンプ場があります。

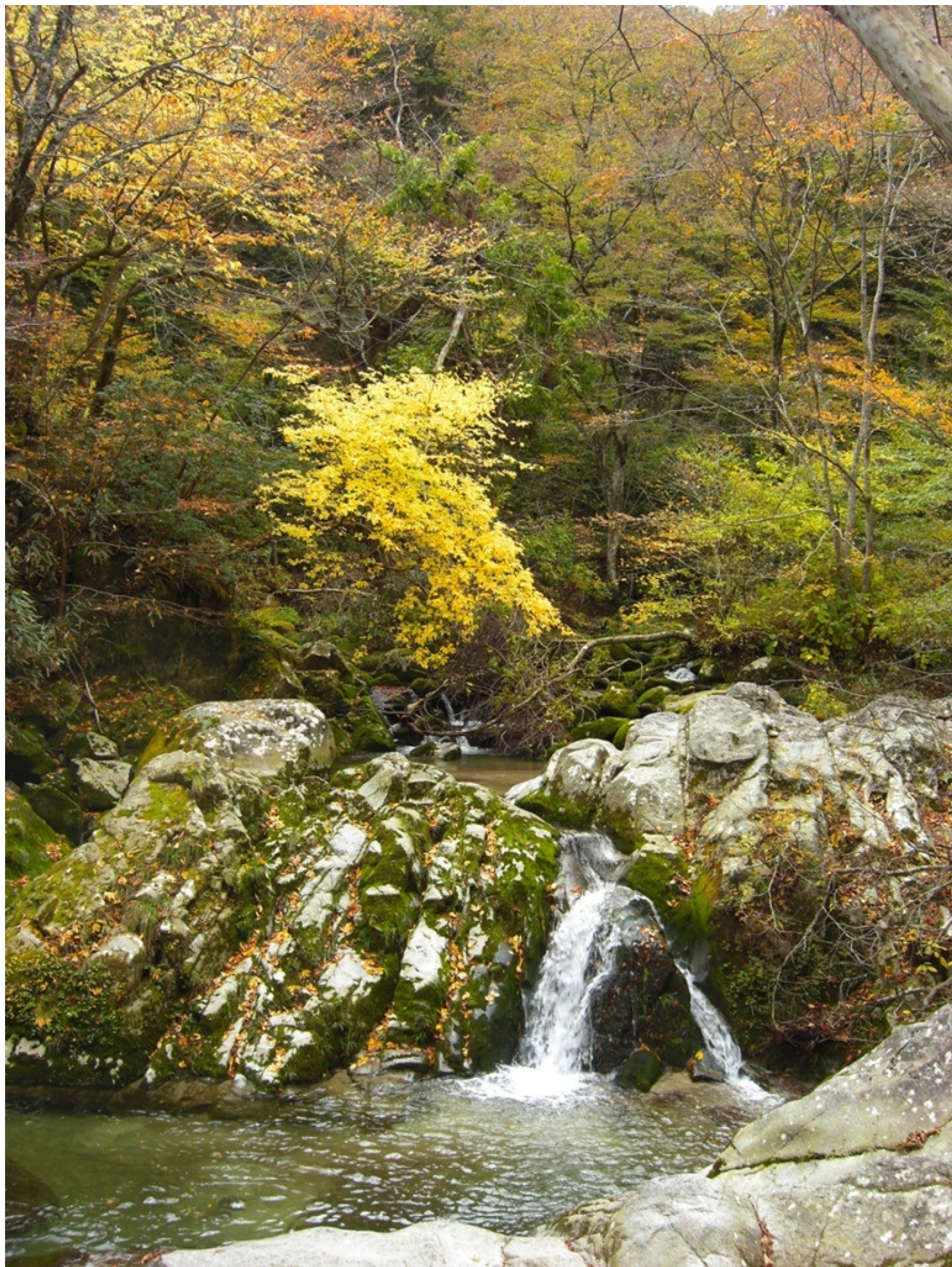








キャンプ場脇にも滝が





帰ります ^^

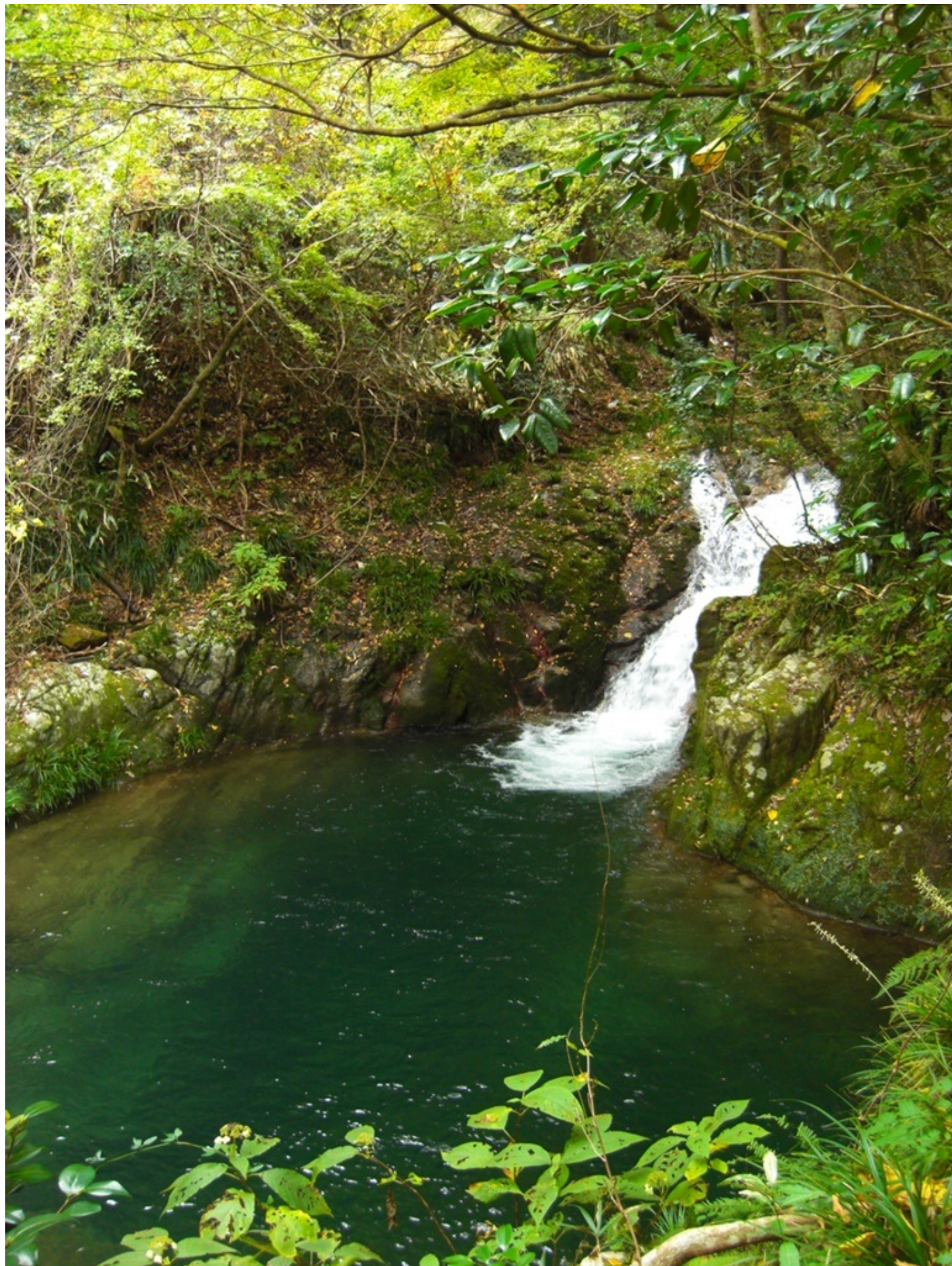


不動滝、乙女滝

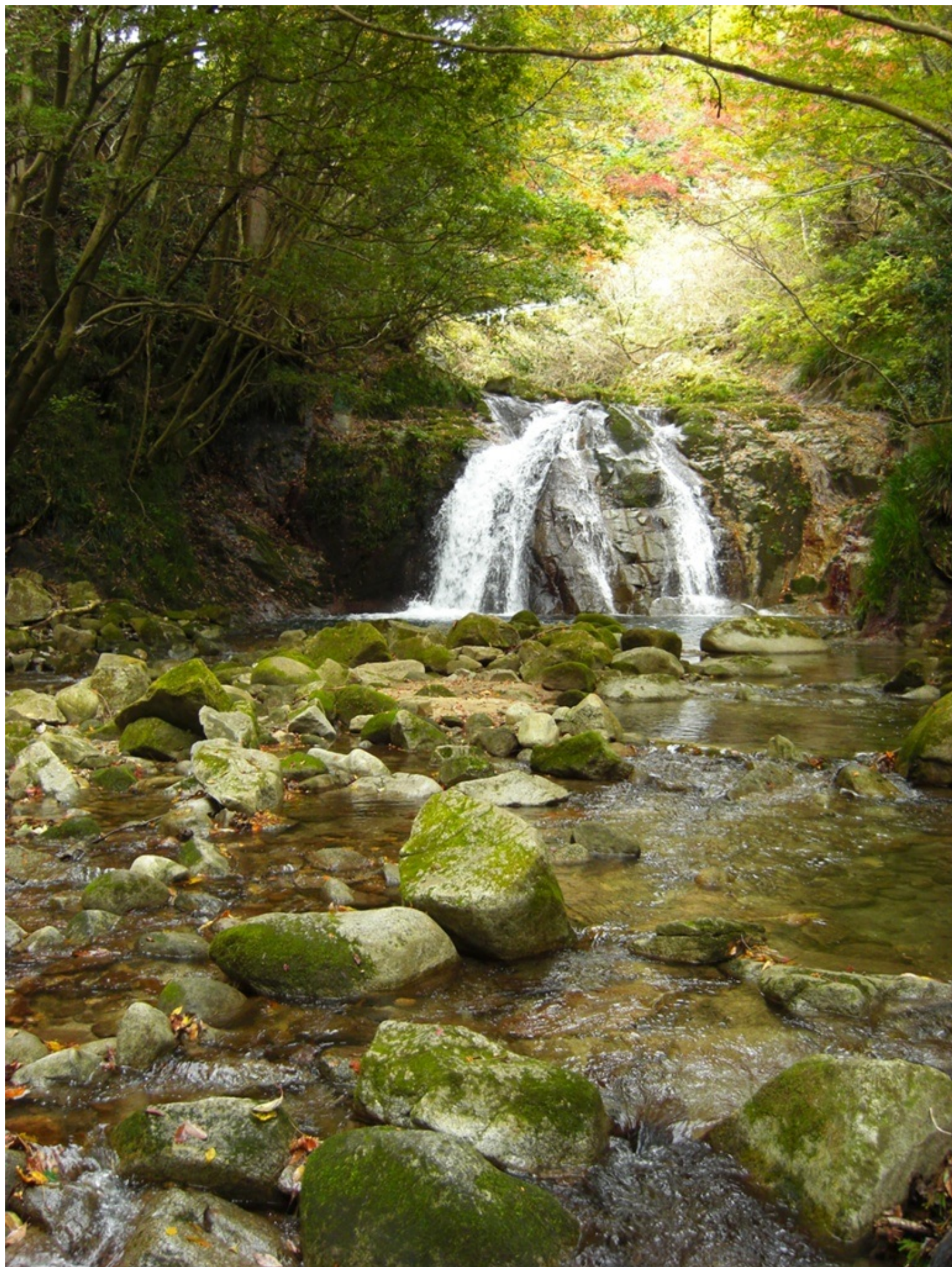
溪谷の入り口（花貴駐車場脇）にふたつの滝があります。

敢えて見ずに通過したのですが、そちらを紹介してアルバムの完成と致します。

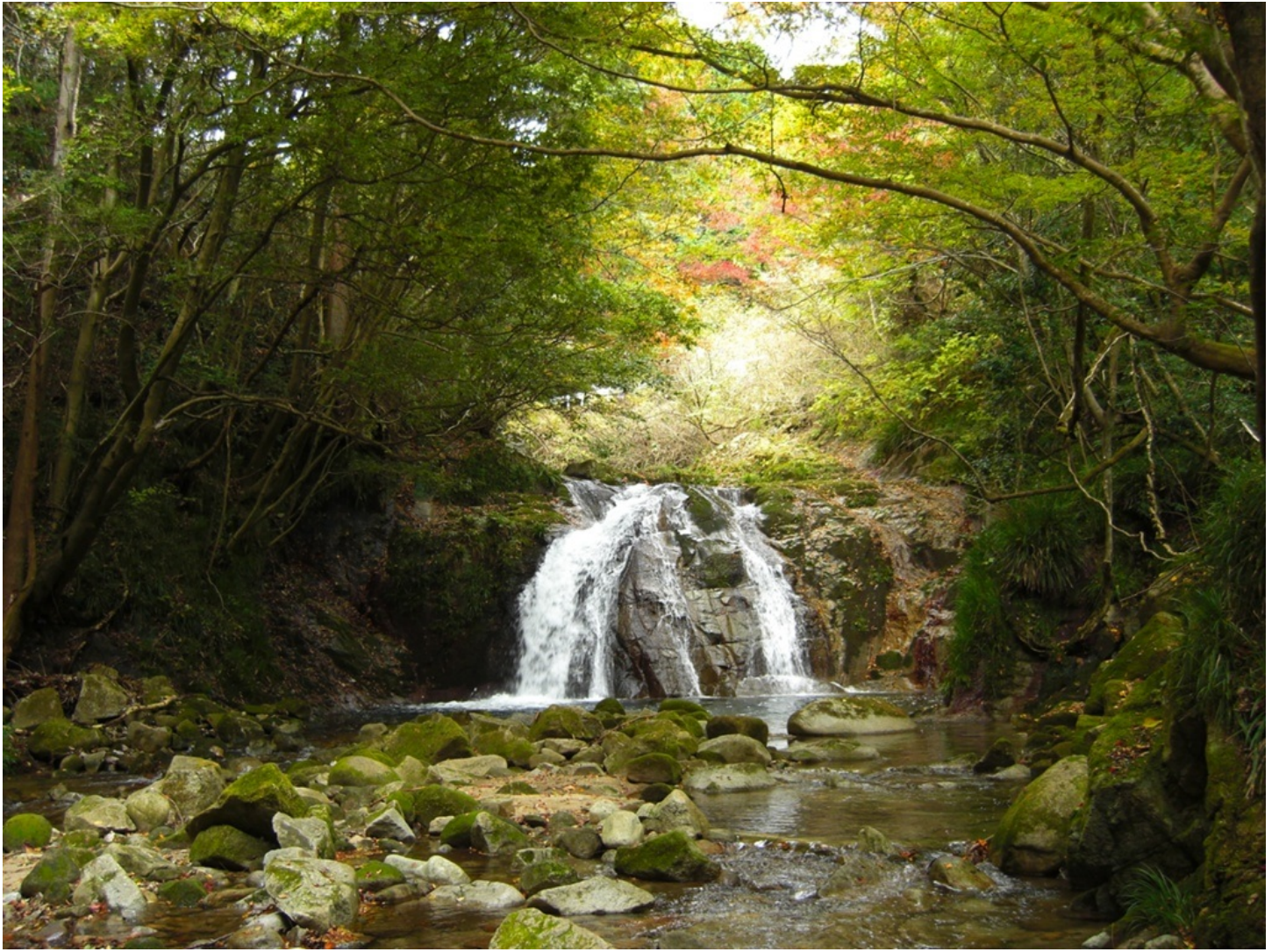


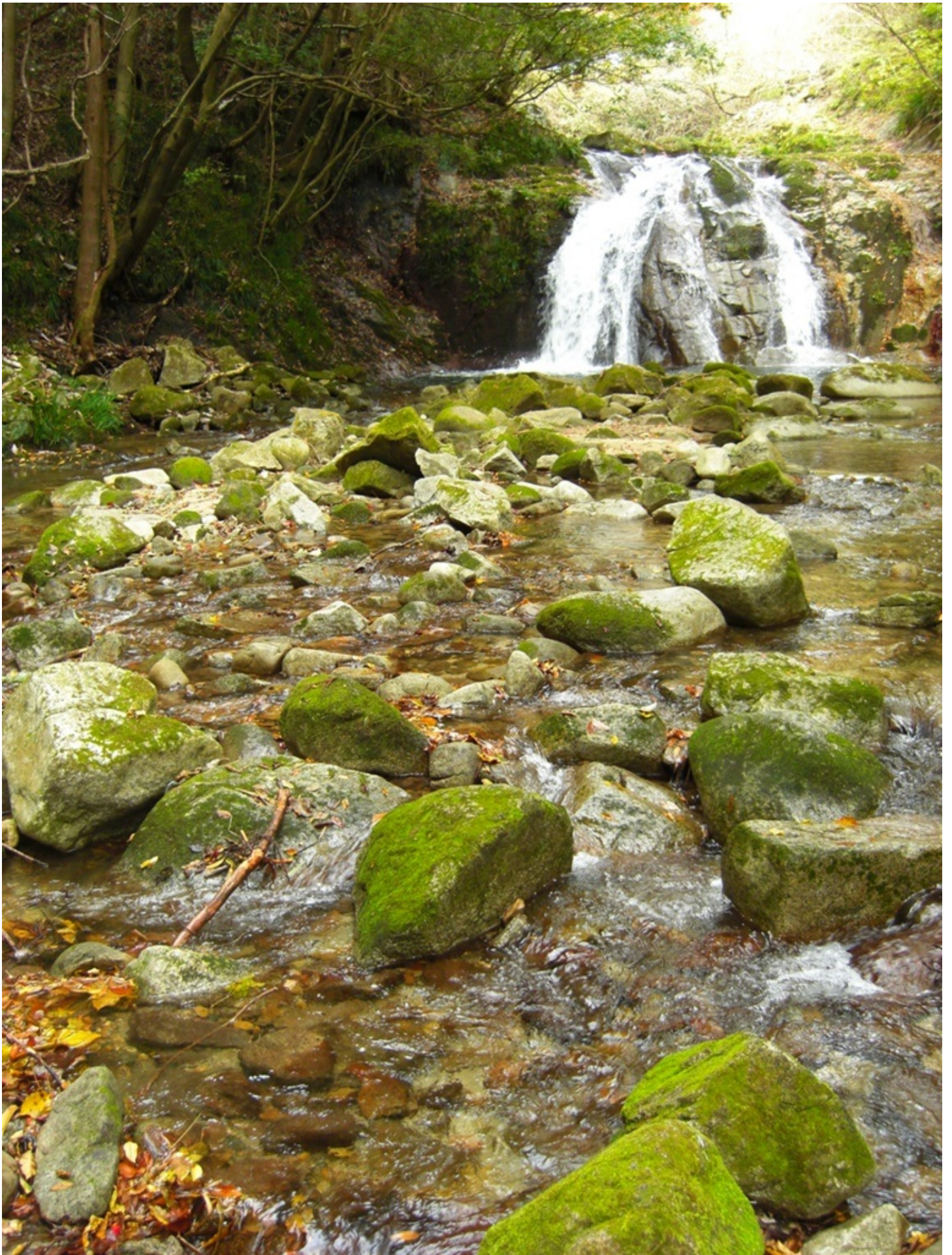




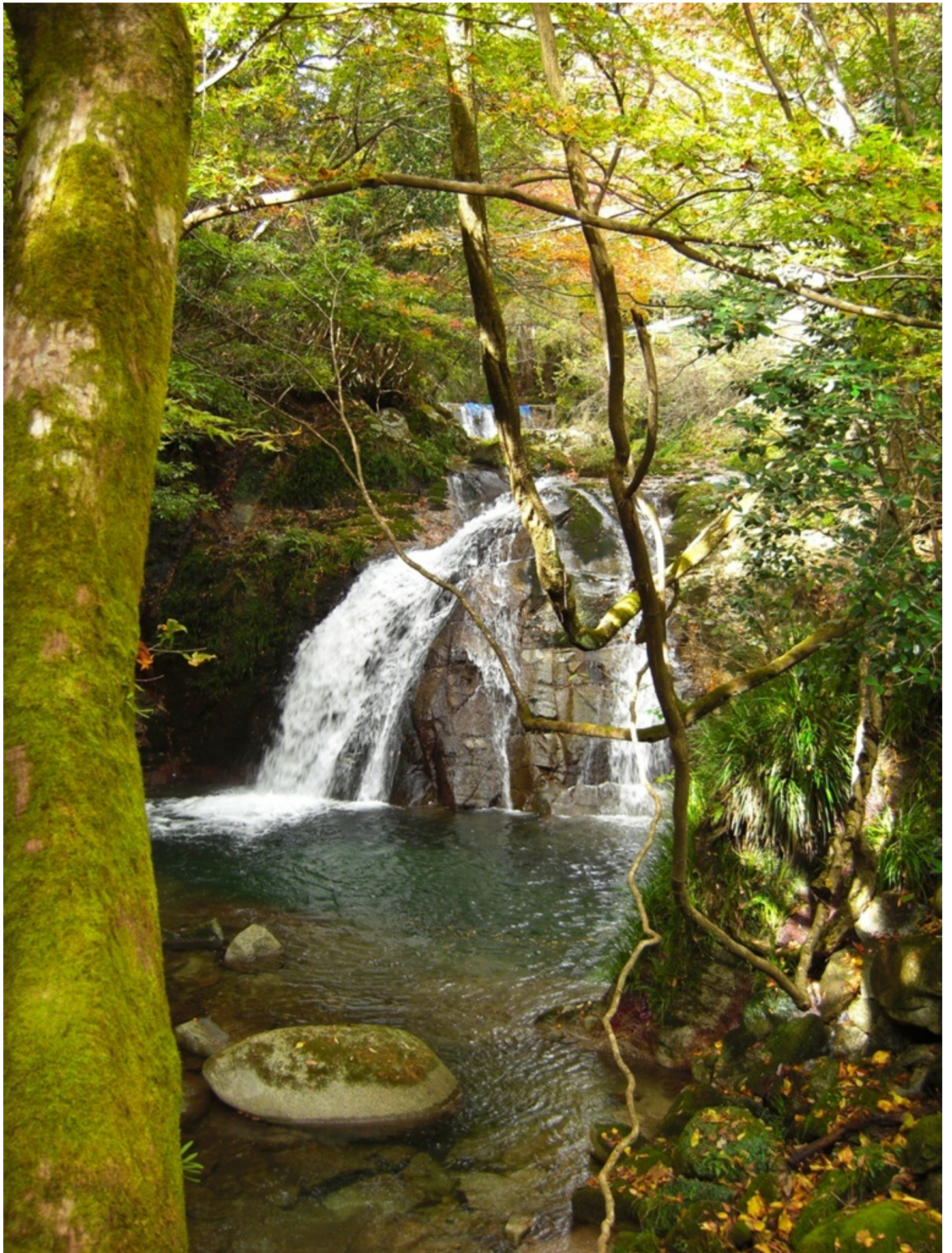








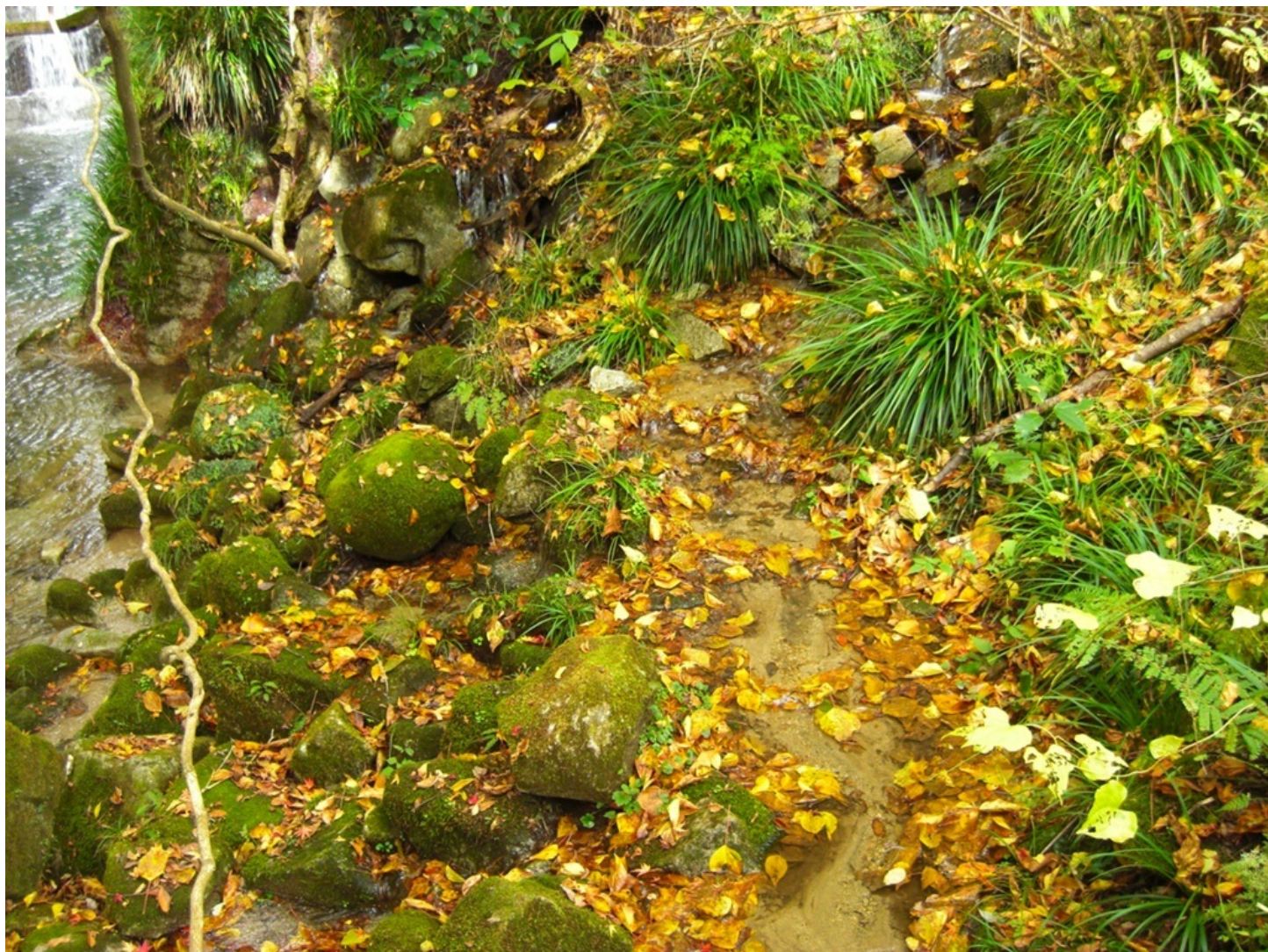




乙女滝を囲む崖からも水の流れが



滝の音とせせらぎに囲まれていました。





ありがとうございました。



花貫溪谷

<http://p.booklog.jp/book/79122>

著者 : keisukedayo

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/keisukedayo/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/79122>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/79122>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ